

令和6年度 鵜方児童公園トイレ改修工事他1件

共通			鵜方児童公園トイレ改修工事			阿児ふるさと公園トイレ改修工事		
図面番号	図 面 名 称	縮尺 (A2)	図面番号	図 面 名 称	縮尺 (A2)	図面番号	図 面 名 称	縮尺 (A2)
	表紙・図面リスト	N.S						
共 T-01	特記仕様書（共通事項・仮設）	N.S	鵜 A-01	建築特記仕様書(改修)-1	N.S	阿 A-01	建築特記仕様書(改修)-1	N.S
			鵜 A-02	建築特記仕様書(改修)-2	N.S	阿 A-02	建築特記仕様書(改修)-2	N.S
			鵜 A-03	建築特記仕様書(改修)-3	N.S	阿 A-03	建築特記仕様書(改修)-3	N.S
			鵜 A-04	建築特記仕様書(改修)-4	N.S	阿 A-04	建築特記仕様書(改修)-4	N.S
			鵜 A-05	建築特記仕様書(改修)-5	N.S	阿 A-05	建築特記仕様書(改修)-5	N.S
				建築特記仕様書(改修)-6			建築特記仕様書(改修)-6	
				建築特記仕様書(改修)-7			建築特記仕様書(改修)-7	
				建築特記仕様書(改修)-8			建築特記仕様書(改修)-8	
			鵜 A-06	付近見取図・仮設計画図	1:50	阿 A-06	付近見取図・仮設計画図	1:50
			鵜 A-07	平面詳細図(現況・改修後)	1:50	阿 A-07	平面詳細図(現況・改修後)	1:50
			鵜 A-08	改修後 立面図・屋根伏図	1:50	阿 A-08	改修後 立面図・屋根伏図	1:50
			鵜 A-09	改修後 断面詳細図	1:30	阿 A-09	改修後 断面詳細図	1:30
			鵜 A-10	改修後 建具表・展開図・土間伏図・構造詳細図	1:50	阿 A-10	建具表・天井伏図(現況・改修後)	1:50
			鵜 A-11	現況 立面図・屋根伏図・断面詳細図	1:50	阿 A-11	展開図(改修後)	1:50
						阿 A-12	土間伏図・部分詳細図	1:50
			鵜 E-01	電気設備特記仕様書	N.S	阿 A-13	現況 立面図・屋根伏図	1:50
			鵜 E-02	電気設備図(撤去・改修)	1:50	阿 A-14	現況 断面詳細図	1:30
			鵜 M-01	機械設備特記仕様書-1	N.S	阿 E-01	電気設備特記仕様書	N.S
			鵜 M-02	機械設備特記仕様書-2	N.S	阿 E-02	電気設備図-1(撤去・換気、コンセント)	
			鵜 M-03	機械設備図-1(撤去)	1:50	阿 E-03	電気設備図-2(照明設備)	1:50
			鵜 M-04	機械設備図-2(改修)	1:50			1:50
			鵜 M-05	合併浄化槽 参考図	1:40	阿 M-01	機械設備特記仕様書-1	N.S
						阿 M-02	機械設備特記仕様書-2	N.S
						阿 M-03	機械設備図-1(撤去)	1:50
						阿 M-04	機械設備図-2(改修)	1:50
						阿 M-05	合併浄化槽 参考図	1:40

[illegible]

[illegible]

⑨
建具
改修
工事

⑩
ガラス

フロート板ガラス
品厚及び厚さの呼びによる種類
※建具表による

型板ガラス
厚さによる種類
※建具表による

網入板ガラス及び縁入板ガラス
網又は縁の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
※建具表による

合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
※建具表による
形状による種類
・平面合わせガラス
・曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類
・Ⅱ－Ⅰ類
・Ⅱ－Ⅱ類
・Ⅲ類

強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
※建具表による
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類
・Ⅲ類

熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
※建具表による
性能による種類
・Ⅰ種
・Ⅱ種

複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
※建具表による
断熱性による区分
・T Ⅰ
・T Ⅱ
・T Ⅲ
・T Ⅳ
・T Ⅴ
・T Ⅵ
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・G
・S
乾燥気体の種類
・空気
・アルゴン

熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
※建具表による
日射熱遮へい性による区分
・Ⅰ種
・Ⅱ種
・Ⅲ種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分がⅡ種の場合）
・A類
・B類
映像調整
・行わない
・行う

倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
※建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレージングチャンネル形	※建具の製造所の仕様による ・図示
銅製及び銅製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示
ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示

[5.13.5]

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整	防火性能
・正方形	・125×125	80	乳白	※8～15	平面積み	※6m以下 ・無し
	・160×160	95	・125	・15～25	※15以下 ・内側	・無し ・有り
	・200×200	95	・125		・内側	
	・320×320	95	・125		※6以上	
・長方形	・250×125	80	・95			
	・320×160	95	・95			

20
ガラス用フィルム

種 類	記号		性 能 等
	内貼り用	外貼り用	
・日射調整フィルム	・S C－Ⅰ	・S C－Ⅱ	日射遮蔽性能による区分 ・A・B・C・D・E
・低放射フィルム	・L E		熱貫流率による区分 ・A・B・C・D
・衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	・GⅠ－Ⅰ	・GⅠ－Ⅱ	
・			
品質 JIS A 5759による。			

⑪
内装
改修
工事

⑫
外装
改修
工事

① 改修範囲

2 既存床の撤去及び下地補修

3 既存壁の撤去及び下地補修

4 木下地等の表面仕上げ

5 製材

② 改修範囲

6 造作用集成材

③ 改修範囲

7 造作用単板積層材

8 床張り用合板等

④ 改修範囲

9 化粧板

10 防蟻・防蟻処理

11 軽量鉄骨天井下地

⑤ 改修範囲

⑥ 改修範囲

⑦ 改修範囲

⑧ 改修範囲

⑨ 改修範囲

⑩ 改修範囲

⑪ 改修範囲

⑫ 改修範囲

⑬ 改修範囲

⑭ 改修範囲

⑮ 改修範囲

⑯ 改修範囲

⑰ 改修範囲

⑱ 改修範囲

⑲ 改修範囲

⑳ 改修範囲

㉑ 改修範囲

㉒ 改修範囲

㉓ 改修範囲

㉔ 改修範囲

㉕ 改修範囲

㉖ 改修範囲

㉗ 改修範囲

㉘ 改修範囲

㉙ 改修範囲

㉚ 改修範囲

㉛ 改修範囲

㉜ 改修範囲

㉝ 改修範囲

㉞ 改修範囲

㉟ 改修範囲

㊱ 改修範囲

㊲ 改修範囲

㊳ 改修範囲

㊴ 改修範囲

㊵ 改修範囲

㊶ 改修範囲

㊷ 改修範囲

㊸ 改修範囲

㊹ 改修範囲

㊺ 改修範囲

㊻ 改修範囲

㊼ 改修範囲

㊽ 改修範囲

㊾ 改修範囲

㊿ 改修範囲

① 改修範囲

② 改修範囲

③ 改修範囲

④ 改修範囲

⑤ 改修範囲

⑥ 改修範囲

⑦ 改修範囲

⑧ 改修範囲

⑨ 改修範囲

⑩ 改修範囲

⑪ 改修範囲

⑫ 改修範囲

⑬ 改修範囲

⑭ 改修範囲

⑮ 改修範囲

⑯ 改修範囲

⑰ 改修範囲

⑱ 改修範囲

⑲ 改修範囲

⑳ 改修範囲

㉑ 改修範囲

㉒ 改修範囲

㉓ 改修範囲

㉔ 改修範囲

㉕ 改修範囲

㉖ 改修範囲

㉗ 改修範囲

㉘ 改修範囲

㉙ 改修範囲

㉚ 改修範囲

㉛ 改修範囲

㉜ 改修範囲

㉝ 改修範囲

㉞ 改修範囲

㉟ 改修範囲

㊱ 改修範囲

㊲ 改修範囲

㊳ 改修範囲

㊴ 改修範囲

㊵ 改修範囲

㊶ 改修範囲

㊷ 改修範囲

㊸ 改修範囲

㊹ 改修範囲

㊺ 改修範囲

㊻ 改修範囲

㊼ 改修範囲

㊽ 改修範囲

㊾ 改修範囲

㊿ 改修範囲

① 改修範囲

② 改修範囲

③ 改修範囲

④ 改修範囲

⑤ 改修範囲

⑥ 改修範囲

⑦ 改修範囲

⑧ 改修範囲

⑨ 改修範囲

⑩ 改修範囲

⑪ 改修範囲

⑫ 改修範囲

⑬ 改修範囲

⑭ 改修範囲

⑮ 改修範囲

⑯ 改修範囲

⑰ 改修範囲

⑱ 改修範囲

⑲ 改修範囲

⑳ 改修範囲

㉑ 改修範囲

㉒ 改修範囲

㉓ 改修範囲

㉔ 改修範囲

㉕ 改修範囲

㉖ 改修範囲

㉗ 改修範囲

㉘ 改修範囲

㉙ 改修範囲

㉚ 改修範囲

㉛ 改修範囲

㉜ 改修範囲

㉝ 改修範囲

㉞ 改修範囲

㉟ 改修範囲

㊱ 改修範囲

㊲ 改修範囲

㊳ 改修範囲

㊴ 改修範囲

㊵ 改修範囲

㊶ 改修範囲

㊷ 改修範囲

㊸ 改修範囲

㊹ 改修範囲

㊺ 改修範囲

㊻ 改修範囲

㊼ 改修範囲

㊽ 改修範囲

㊾ 改修範囲

㊿ 改修範囲

① 改修範囲

② 改修範囲

③ 改修範囲

④ 改修範囲

⑤ 改修範囲

⑥ 改修範囲

⑦ 改修範囲

⑧ 改修範囲

⑨ 改修範囲

⑩ 改修範囲

⑪ 改修範囲

⑫ 改修範囲

⑬ 改修範囲

⑭ 改修範囲

⑮ 改修範囲

⑯ 改修範囲

⑰ 改修範囲

⑱ 改修範囲

⑲ 改修範囲

⑳ 改修範囲

㉑ 改修範囲

㉒ 改修範囲

㉓ 改修範囲

㉔ 改修範囲

㉕ 改修範囲

㉖ 改修範囲

㉗ 改修範囲

㉘ 改修範囲

㉙ 改修範囲

㉚ 改修範囲

㉛ 改修範囲

㉜ 改修範囲

㉝ 改修範囲

㉞ 改修範囲

㉟ 改修範囲

㊱ 改修範囲

㊲ 改修範囲

㊳ 改修範囲

㊴ 改修範囲

㊵ 改修範囲

㊶ 改修範囲

㊷ 改修範囲

㊸ 改修範囲

㊹ 改修範囲

㊺ 改修範囲

㊻ 改修範囲

㊼ 改修範囲

㊽ 改修範囲

㊾ 改修範囲

㊿ 改修範囲

① 改修範囲

② 改修範囲

③ 改修範囲

④ 改修範囲

⑤ 改修範囲

⑥ 改修範囲

⑦ 改修範囲

⑧ 改修範囲

⑨ 改修範囲

⑩ 改修範囲

⑪ 改修範囲

⑫ 改修範囲

⑬ 改修範囲

⑭ 改修範囲

⑮ 改修範囲

⑯ 改修範囲

⑰ 改修範囲

⑱ 改修範囲

⑲ 改修範囲

⑳ 改修範囲

㉑ 改修範囲

㉒ 改修範囲

㉓ 改修範囲

㉔ 改修範囲

㉕ 改修範囲

㉖ 改修範囲

㉗ 改修範囲

㉘ 改修範囲

㉙ 改修範囲

㉚ 改修範囲

㉛ 改修範囲

㉜ 改修範囲

㉝ 改修範囲

㉞ 改修範囲

㉟ 改修範囲

㊱ 改修範囲

㊲ 改修範囲

㊳ 改修範囲

㊴ 改修範囲

㊵ 改修範囲

㊶ 改修範囲

㊷ 改修範囲

㊸ 改修範囲

㊹ 改修範囲

㊺ 改修範囲

㊻ 改修範囲

㊼ 改修範囲

㊽ 改修範囲

㊾ 改修範囲

㊿ 改修範囲

① 改修範囲

② 改修範囲

③ 改修範囲

④ 改修範囲

⑤ 改修範囲

⑥ 改修範囲

⑦ 改修範囲

⑧ 改修範囲

⑨ 改修範囲

⑩ 改修範囲

⑪ 改修範囲

⑫ 改修範囲

⑬ 改修範囲

⑭ 改修範囲

⑮ 改修範囲

⑯ 改修範囲

⑰ 改修範囲

⑱ 改修範囲

⑲ 改修範囲

⑳ 改修範囲

㉑ 改修範囲

㉒ 改修範囲

㉓ 改修範囲

㉔ 改修範囲

㉕ 改修範囲

㉖ 改修範囲

㉗ 改修範囲

㉘ 改修範囲

㉙ 改修範囲

㉚ 改修範囲

㉛ 改修範囲

㉜ 改修範囲

㉝ 改修範囲

㉞ 改修範囲

㉟ 改修範囲

㊱ 改修範囲

㊲ 改修範囲

㊳ 改修範囲

㊴ 改修範囲

㊵ 改修範囲

㊶ 改修範囲

㊷ 改修範囲

㊸ 改修範囲

㊹ 改修範囲

㊺ 改修範囲

㊻ 改修範囲

㊼ 改修範囲

㊽ 改修範囲

㊾ 改修範囲

㊿ 改修範囲

① 改修範囲

② 改修範囲

③ 改修範囲

④ 改修範囲

⑤ 改修範囲

⑥ 改修範囲

⑦ 改修範囲

⑧ 改修範囲

⑨ 改修範囲

⑩ 改修範囲

⑪ 改修範囲

⑫ 改修範囲

⑬ 改修範囲

⑭ 改修範囲

⑮ 改修範囲

⑯ 改修範囲

⑰ 改修範囲

⑱ 改修範囲

⑲ 改修範囲

⑳ 改修範囲

㉑ 改修範囲

㉒ 改修範囲

㉓ 改修範囲

㉔ 改修範囲

㉕ 改修範囲

㉖ 改修範囲

㉗ 改修範囲

㉘ 改修範囲

㉙ 改修範囲

㉚ 改修範囲

㉛ 改修範囲

㉜ 改修範囲

㉝ 改修範囲

㉞ 改修範囲

㉟ 改修範囲

㊱ 改修範囲

㊲ 改修範囲

㊳ 改修範囲

㊴ 改修範囲

㊵ 改修範囲

㊶ 改修範囲

㊷ 改修範囲

㊸ 改修範囲

㊹ 改修範囲

㊺ 改修範囲

㊻ 改修範囲

㊼ 改修範囲

㊽ 改修範囲

㊾ 改修範囲

㊿ 改修範囲

① 改修範囲

② 改修範囲

③ 改修範囲

④ 改修範囲

⑤ 改修範囲

⑥ 改修範囲

⑦ 改修範囲

⑧ 改修範囲

⑨ 改修範囲

⑩ 改修範囲

⑪ 改修範囲

⑫ 改修範囲

⑬ 改修範囲

⑭ 改修範囲

⑮ 改修範囲

⑯ 改修範囲

⑰ 改修範囲

⑱ 改修範囲

⑲ 改修範囲

⑳ 改修範囲

㉑ 改修範囲

㉒ 改修範囲

㉓ 改修範囲

㉔ 改修範囲

㉕ 改修範囲

㉖ 改修範囲

㉗ 改修範囲

㉘ 改修範囲

㉙ 改修範囲

㉚ 改修範囲

㉛ 改修範囲

㉜ 改修範囲

㉝ 改修範囲

㉞ 改修範囲

㉟ 改修範囲

㊱ 改修範囲

㊲ 改修範囲

㊳ 改修範囲

㊴ 改修範囲

㊵ 改修範囲

㊶ 改修範囲

㊷ 改修範囲

㊸ 改修範囲

㊹ 改修範囲

㊺ 改修範囲

㊻ 改修範囲

㊼ 改修範囲

㊽ 改修範囲

㊾ 改修範囲

㊿ 改修範囲

① 改修範囲

② 改修範囲

③ 改修範囲

④ 改修範囲

⑤ 改修範囲

⑥ 改修範囲

⑦ 改修範囲

⑧ 改修範囲

⑨ 改修範囲

⑩ 改修範囲

⑪ 改修範囲

⑫ 改修範囲

⑬ 改修範囲

⑭ 改修範囲

⑮ 改修範囲

⑯ 改修範囲

⑰ 改修範囲

⑱ 改修範囲

⑲ 改修範囲

⑳ 改修範囲

㉑ 改修範囲

㉒ 改修範囲

㉓ 改修範囲

㉔ 改修範囲

㉕ 改修範囲

㉖ 改修範囲

㉗ 改修範囲

㉘ 改修範囲

㉙ 改修範囲

㉚ 改修範囲

㉛ 改修範囲

㉜ 改修範囲

㉝ 改修範囲

㉞ 改修範囲

㉟ 改修範囲

㊱ 改修範囲

㊲ 改修範囲

㊳ 改修範囲

㊴ 改修範囲

㊵ 改修範囲

㊶ 改修範囲

㊷ 改修範囲

㊸ 改修範囲

㊹ 改修範囲

㊺ 改修範囲

㊻ 改修範囲

㊼ 改修範囲

㊽ 改修範囲

㊾ 改修範囲

㊿ 改修範囲

① 改修範囲

② 改修範囲

③ 改修範囲

④ 改修範囲

⑤ 改修範囲

⑥ 改修範囲

⑦ 改修範囲

⑧ 改修範囲

⑨ 改修範囲

⑩ 改修範囲

⑪ 改修範囲

⑫ 改修範囲

⑬ 改修範囲

⑭ 改修範囲

⑮ 改修範囲

⑯ 改修範囲

⑰ 改修範囲

⑱ 改修範囲

⑲ 改修範囲

⑳ 改修範囲

㉑ 改修範囲

㉒ 改修範囲

㉓ 改修範囲

㉔ 改修範囲

㉕ 改修範囲

㉖ 改修範囲

㉗ 改修範囲

㉘ 改修範囲

㉙ 改修範囲

㉚ 改修範囲

㉛ 改修範囲

㉜ 改修範囲

㉝ 改修範囲

㉞ 改修範囲

㉟ 改修範囲

㊱ 改修範囲

㊲ 改修範囲

㊳ 改修範囲

㊴ 改修範囲

㊵ 改修範囲

㊶ 改修範囲

㊷ 改修範囲

㊸ 改修範囲

㊹ 改修範囲

㊺ 改修範囲

㊻ 改修範囲

㊼ 改修範囲

㊽ 改修範囲

㊾ 改修範囲

㊿ 改修範囲

① 改修範囲

② 改修範囲

③ 改修範囲

④ 改修範囲

⑤ 改修範囲

⑥ 改修範囲

⑦ 改修範囲

⑧ 改修範囲

⑨ 改修範囲

⑩ 改修範囲

⑪ 改修範囲

⑫ 改修範囲

⑬ 改修範囲

⑭ 改修範囲

⑮ 改修範囲

⑯ 改修範囲

⑰ 改修範囲

⑱ 改修範囲

⑲ 改修範囲

⑳ 改修範囲

㉑ 改修範囲

㉒ 改修範囲

㉓ 改修範囲

㉔ 改修範囲

㉕ 改修範囲

㉖ 改修範囲

㉗ 改修範囲

㉘ 改修範囲

㉙ 改修範囲

㉚ 改修範囲

㉛ 改修範囲

㉜ 改修範囲

㉝ 改修範囲

㉞ 改修範囲

㉟ 改修範囲

㊱ 改修範囲

㊲ 改修範囲

㊳ 改修範囲

㊴ 改修範囲

㊵ 改修範囲

㊶ 改修範囲

㊷ 改修範囲

㊸ 改修範囲

㊹ 改修範囲

㊺ 改修範囲

㊻ 改修範囲

㊼ 改修範囲

㊽ 改修範囲

㊾ 改修範囲

㊿ 改修範囲

① 改修範囲

② 改修範囲

③ 改修範囲

④ 改修範囲

⑤ 改修範囲

⑥ 改修範囲

⑦ 改修範囲

⑧ 改修範囲

⑨ 改修範囲

⑩ 改修範囲

⑪ 改修範囲

⑫ 改修範囲

⑬ 改修範囲

⑭ 改修範囲

⑮ 改修範囲

⑯ 改修範囲

⑰ 改修範囲

⑱ 改修範囲

⑲ 改修範囲

⑳ 改修範囲

㉑ 改修範囲

㉒ 改修範囲

㉓ 改修範囲

㉔ 改修範囲

㉕ 改修範囲

㉖ 改修範囲

㉗ 改修範囲

㉘ 改修範囲

㉙ 改修範囲

㉚ 改修範囲

㉛ 改修範囲

㉜ 改修範囲

㉝ 改修範囲

㉞ 改修範囲

㉟ 改修範囲

㊱ 改修範囲

㊲ 改修範囲

㊳ 改修範囲

㊴ 改修範囲

㊵ 改修範囲

㊶ 改修範囲

㊷ 改修範囲

㊸ 改修範囲

㊹ 改修範囲

㊺ 改修範囲

㊻ 改修範囲

㊼ 改修範囲

㊽ 改修範囲

㊾ 改修範囲

㊿ 改修範囲

① 改修範囲

② 改修範囲

③ 改修範囲

④ 改修範囲

⑤ 改修範囲

⑥ 改修範囲

⑦ 改修範囲

⑧ 改修範囲

⑨ 改修範囲

⑩ 改修範囲

⑪ 改修範囲

⑫ 改修範囲

⑬ 改修範囲

⑭ 改修範囲

⑮ 改修範囲

⑯ 改修範囲

⑰ 改修範囲

⑱ 改修範囲

⑲ 改修範囲

⑳ 改修範囲

㉑ 改修範囲

㉒ 改修範囲

㉓ 改修範囲

㉔ 改修範囲

㉕ 改修範囲

㉖ 改修範囲

㉗ 改修範囲

㉘ 改修範囲

㉙ 改修範囲

㉚ 改修範囲

㉛ 改修範囲

㉜ 改修範囲

㉝ 改修範囲

㉞ 改修範囲

㉟ 改修範囲

㊱ 改修範囲

㊲ 改修範囲

㊳ 改修範囲

㊴ 改修範囲

㊵ 改修範囲

㊶ 改修範囲

㊷ 改修範囲

㊸ 改修範囲

㊹ 改修範囲

㊺ 改修範囲

㊻ 改修範囲

㊼ 改修範囲

㊽ 改修範囲

㊾ 改修範囲

㊿ 改修範囲

① 改修範囲

② 改修範囲

③ 改修範囲

④ 改修範囲

⑤ 改修範囲

⑥ 改修範囲

⑦ 改修範囲

⑧ 改修範囲

⑨ 改修範囲

⑩ 改修範囲

⑪ 改修範囲

⑫ 改修範囲

⑬ 改修範囲

⑭ 改修範囲

⑮ 改修範囲

⑯ 改修範囲

⑰ 改修範囲

⑱ 改修範囲

⑲ 改修範囲

⑳ 改修範囲

㉑ 改修範囲

㉒ 改修範囲

㉓ 改修範囲

㉔ 改修範囲

㉕ 改修範囲

㉖ 改修範囲

㉗ 改修範囲

㉘ 改修範囲

㉙ 改修範囲

㉚ 改修範囲

㉛ 改修範囲

㉜ 改修範囲

㉝ 改修範囲

㉞ 改修範囲

㉟ 改修範囲

㊱ 改修範囲

㊲ 改修範囲

㊳ 改修範囲

㊴ 改修範囲

㊵ 改修範囲

㊶ 改修範囲

㊷ 改修範囲

㊸ 改修範囲

㊹ 改修範囲

㊺ 改修範囲

㊻ 改修範囲

㊼ 改修範囲

㊽ 改修範囲

㊾ 改修範囲

㊿ 改修範囲

① 改修範囲

② 改修範囲

③ 改修範囲

④ 改修範囲

⑤ 改修範囲

⑥ 改修範囲

⑦ 改修範囲

⑧ 改修範囲

⑨ 改修範囲

⑩ 改修範囲

⑪ 改修範囲

⑫ 改修範囲

⑬ 改修範囲

⑭ 改修範囲

⑮ 改修範囲

⑯ 改修範囲

⑰ 改修範囲

⑱ 改修範囲

⑲ 改修範囲

⑳ 改修範囲

㉑ 改修範囲

㉒ 改修範囲

㉓ 改修範囲

㉔ 改修範囲

㉕ 改修範囲

㉖ 改修範囲

㉗ 改修範囲

㉘ 改修範囲

㉙ 改修範囲

㉚ 改修範囲

㉛ 改修範囲

㉜ 改修範囲

㉝ 改修範囲

㉞ 改修範囲

㉟ 改修範囲

㊱ 改修範囲

㊲ 改修範囲

㊳ 改修範囲

㊴ 改修範囲

㊵ 改修範囲

㊶ 改修範囲

㊷ 改修範囲

㊸ 改修範囲

㊹ 改修範囲

㊺ 改修範囲

㊻ 改修範囲

㊼ 改修範囲

㊽ 改修範囲

㊾ 改修範囲

㊿ 改修範囲

① 改修範囲

② 改修範囲

③ 改修範囲

④ 改修範囲

⑤ 改修範囲

⑥ 改修範囲

⑦ 改修範囲

⑧ 改修範囲

⑨ 改修範囲

⑩ 改修範囲

⑪ 改修範囲

⑫ 改修範囲

⑬ 改修範囲

⑭ 改修範囲

⑮ 改修範囲

⑯ 改修範囲

⑰ 改修範囲

⑱ 改修範囲

⑲ 改修範囲

⑳ 改修範囲

㉑ 改修範囲

㉒ 改修範囲

㉓ 改修範囲

㉔ 改修範囲

㉕ 改修範囲

㉖ 改修範囲

㉗ 改修範囲

㉘ 改修範囲

㉙ 改修範囲

㉚ 改修範囲

㉛ 改修範囲

㉜ 改修範囲

㉝ 改修範囲

㉞ 改修範囲

㉟ 改修範囲

㊱ 改修範囲

㊲ 改修範囲

㊳ 改修範囲

㊴ 改修範囲

㊵ 改修範囲

㊶ 改修範囲

㊷ 改修範囲

㊸ 改修範囲

㊹ 改修範囲

㊺ 改修範囲

㊻ 改修範囲

㊼ 改修範囲

㊽ 改修範囲

㊾ 改修範囲

㊿ 改修範囲

① 改修範囲

② 改修範囲

③ 改修範囲

④ 改修範囲

⑤ 改修範囲

⑥ 改修範囲

⑦ 改修範囲

⑧ 改修範囲

⑨ 改修範囲

⑩ 改修範囲

⑪ 改修範囲

⑫ 改修範囲

⑬ 改修範囲

⑭ 改修範囲

⑮ 改修範囲

⑯ 改修範囲

⑰ 改修範囲

⑱ 改修範囲

⑲ 改修範囲

⑳ 改修範囲

㉑ 改修範囲

㉒ 改修範囲

㉓ 改修範囲

㉔ 改修範囲

㉕ 改修範囲

㉖ 改修範囲

㉗ 改修範囲

㉘ 改修範囲

㉙ 改修範囲

㉚ 改修範囲

㉛ 改修範囲

㉜ 改修範囲

㉝ 改修範囲

㉞ 改修範囲

㉟ 改修範囲

㊱ 改修範囲

㊲ 改修範囲

㊳ 改修範囲

㊴ 改修範囲

㊵ 改修範囲

㊶ 改修範囲

㊷ 改修範囲

㊸ 改修範囲

㊹ 改修範囲

㊺ 改修範囲

㊻ 改修範囲

㊼ 改修範囲

㊽ 改修範囲

㊾ 改修範囲

㊿ 改修範囲

① 改修範囲

② 改修範囲

③ 改修範囲

④ 改修範囲

⑤ 改修範囲

⑥ 改修範囲

⑦ 改修範囲

⑧ 改修範囲

⑨ 改修範囲

⑩ 改修範囲

⑪ 改修範囲

⑫ 改修範囲

⑬ 改修範囲

⑭ 改修範囲

⑮ 改修範囲

⑯ 改修範囲

⑰ 改修範囲

⑱ 改修範囲

⑲ 改修範囲

⑳ 改修範囲

㉑ 改修範囲

㉒ 改修範囲

㉓ 改修範囲

㉔ 改修範囲

㉕ 改修範囲

㉖ 改修範囲

㉗ 改修範囲

㉘ 改修範囲

㉙ 改修範囲

㉚ 改修範囲

㉛ 改修範囲

㉜ 改修範囲

㉝ 改修範囲

㉞ 改修範囲

㉟ 改修範囲

㊱ 改修範囲

㊲ 改修範囲

㊳ 改修範囲

㊴ 改修範囲

㊵ 改修範囲

㊶ 改修範囲

㊷ 改修範囲

㊸ 改修範囲

㊹ 改修範囲

㊺ 改修範囲

㊻ 改修範囲

㊼ 改修範囲

㊽ 改修範囲

㊾ 改修範囲

㊿ 改修範囲

① 改修範囲

② 改修範囲

③ 改修範囲

④ 改修範囲

⑤ 改修範囲

⑥ 改修範囲

⑦ 改修範囲

⑧ 改修範囲

⑨ 改修範囲

⑩ 改修範囲

⑪ 改修範囲

⑫ 改修範囲

⑬ 改修範囲

⑭ 改修範囲

⑮ 改修範囲

⑯ 改修範囲

⑰ 改修範囲

⑱ 改修範囲

⑲ 改修範囲

⑳ 改修範囲

㉑ 改修範囲

15 特殊機能床

[6. 8. 2]

・帯電防止床シート

種類 ()

性能 ()

厚さ () mm

・帯電防止床タイル

種類 ()

性能 ()

寸法 () × () mm 厚さ () mm

・視覚障害者用床タイル

視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による

種類 ()

形状 ()

・耐動荷重性床シート

種類 ()

厚さ () mm

・防滑性床シート

種類 ()

厚さ () mm

・防滑性床タイル

種類 ()

寸法 () × () mm 厚さ () mm

16 ビニル幅木

[6. 8. 2]

材質の種類 ・軟質 ・硬質

高さ (mm) ※60 ・75 ・100

厚さ (mm) ※1.5以上 ・

17 ゴム床タイル

[6. 8. 2]

種類 ・単層品 ・積層品

色柄 ()

厚さ (mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0

寸法 (mm) ()

18 カーペット敷き

[6. 9. 2、3] [表6. 9. 1]

・織じゅうたん

織り方	バイル形状
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットバイル ・ループバイル ・カット/ループバイル

色柄 (・) ※模様のない無地)

※無地の織りじゅうたんの種別 (・A種 ・B種 ・C種)

・

帯電性 ・適用する ・適用しない

織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・

下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ8mm

・

・タフテッドカーペット

バイル形状	バイル長さ (mm)	工 法	帯電性
・カットバイル	・5～7 ・	・全面接着工法	・適用する
・ループバイル	・4～6 ・	・グリッパー工法	・適用しない
・カット、ループ併用	・		

下敷き材(グリッパー工法の場合)

※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・

・ニードルパンチカーペット

厚さ (mm) ()

帯電性 ・適用する ・適用しない

・タイルカーペット

バイルの形状	種 類	施工箇所	寸 法	総厚さ (mm)
※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※ 6. 5 ・
・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※ 6. 5 ・
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※ 6. 5 ・

タイルカーペットの敷き方

平場 ※市松敷き ・模様流し ・

階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・

見切り、押え金物 ()

材質 ()

種類 ()

形状等 ※図示 ・

19 合成樹脂塗床

[6. 10. 2～3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床		／	※平滑仕上げ ・ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床			・薄膜流し展べ工法 ・平滑仕上げ ・厚膜流し展べ工法 ・防滑仕上げ ・樹脂めり工法
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

20 フローリング張り

[6. 11. 2～6]

・単層フローリング (フローリングボード1等)

工法 ・釘留め工法 (・根太張り ・直張り)

・接着工法

樹種 ※なら ・

間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない

・単層フローリング (フローリングブロック1等)

樹種 ・

厚さ ・

大きさ ・

間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない

・複合フローリング

工法 ・釘留め工法 (・根太張り ・直張り)

・接着工法

樹種 ※なら ・

種別 ・A種 ・B種 ・C種

間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

接着工法の場合の裏面緩衝材 ※合成樹脂発泡シート

・現場塗装仕上げ

※ウレタン樹脂ワニス塗り

・オイルステインの上、ワックス塗り

・生地のままワックス塗り

21 畳敷き

[6. 12. 2]

種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (豊床: ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)

下地の種類 ・標準仕様書 表12. 6. 1による床組

・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン)

・

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

22 セっこうボード
その他のボード
及び合板張り

[6. 13. 2、3]

合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外 ・

・木質系セメント板 種類・厚さ (※図示 ・)

・繊維板 種類・厚さ (※図示 ・)

・パーティクルボード 種類・厚さ (※図示 ・)

・吸音材料 種類・厚さ (※図示 ・)

○セっこうボード 種類○厚さ (※図示 ・)

・普通合板

表板の樹種名 ・

板面の品質 ・

厚さ ※図示 ・

接着の程度 ・1類 ・2類

防虫処理 ・行う ・行わない

・天然木化粧合板

化粧板の樹種名 ・

厚さ ※図示 ・

接着の程度 ・1類 ・2類

防虫処理 ・行う ・行わない

・特殊加工化粧合板

化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・)

表面性能 ・

厚さ ※図示 ・

接着の程度 ・1類 ・2類

防虫処理 ・行う ・行わない

セっこうボード等の下地 ※図示

遮音シール材 ・適用する (・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド)

・適用しない

合板類の張付け ※B種 ・A種

セっこうボードの目地工法 ・仕上表による ・

23 壁紙張り

[6. 14. 2～3]

施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備 考
	紙	繊維	フラスチック	無織質	その他		
						・不燃 ・準不燃	
						・不燃 ・準不燃	
						・不燃 ・準不燃	
						・不燃 ・準不燃	

モルタル・プaster一面の下地調整の種別 ※R B種 ・

コンクリート面の下地調整の種別 ※R B種 ・

セっこうボード面の下地調整の種別 ※R B種 ・

24 天井見切り縁

材種 ・塩化ビニル製 ○アルミニウム製

25 モルタル塗り

[6. 15. 3、5、6]

モルタル ・現場調合材料

(セメントは改修特記仕様書 8－2 コンクリート工事による)

・既調合材料 ()

既製目地材 ・設ける 施工箇所 () 形状 (※図示 ・)

・設けない

床の目地

・設ける

目地割り ※2 m2程度 (最大目地間隔 3 m程度 ・)

種類 ※押し目地 ・ ()

・設けない

・防水剤

品質・性能 建築材料等品質性能表による

試験方法 建築材料等品質性能表による

26 タイル張り

[6. 16. 2～4]

伸縮調整目地の位置

床タイル（※縦、横とも4m以内ごと・図示）

床タイル以外（・図示・）

伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による

・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材料の適用	吸水率による区分			うわぐすり		役物	色		耐凍害性	耐滑り性	備考
			I 類	II 類	III 類	施ゆう	無ゆう		有	無			
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り ・行う ・行わない

見本焼き ・行う ・行わない

既製調合モルタル

モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

品質・性能 建築材料等品質性能表による

試験方法 建築材料等品質性能表による

・既製調合目地材

品質・性能 建築材料等品質性能表による

試験方法 建築材料等品質性能表による

・有機系接着剤による質タイル（セラミックタイル）張り

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材料の適用	吸水率による区分			うわぐすり		役物	色		耐凍害性	耐滑り性	備考
			I 類	II 類	III 類	施ゆう	無ゆう		有	無			
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り ・行う ・行わない

見本焼き ・行う ・行わない

内装タイル接着剤張りを使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外 ・

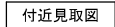
種類及び品質 ・せっこう系 ・セメント系

標準塗厚 (mm) ・

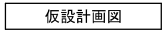
27 セルフレベリング材塗り

[6. 17. 2、3]

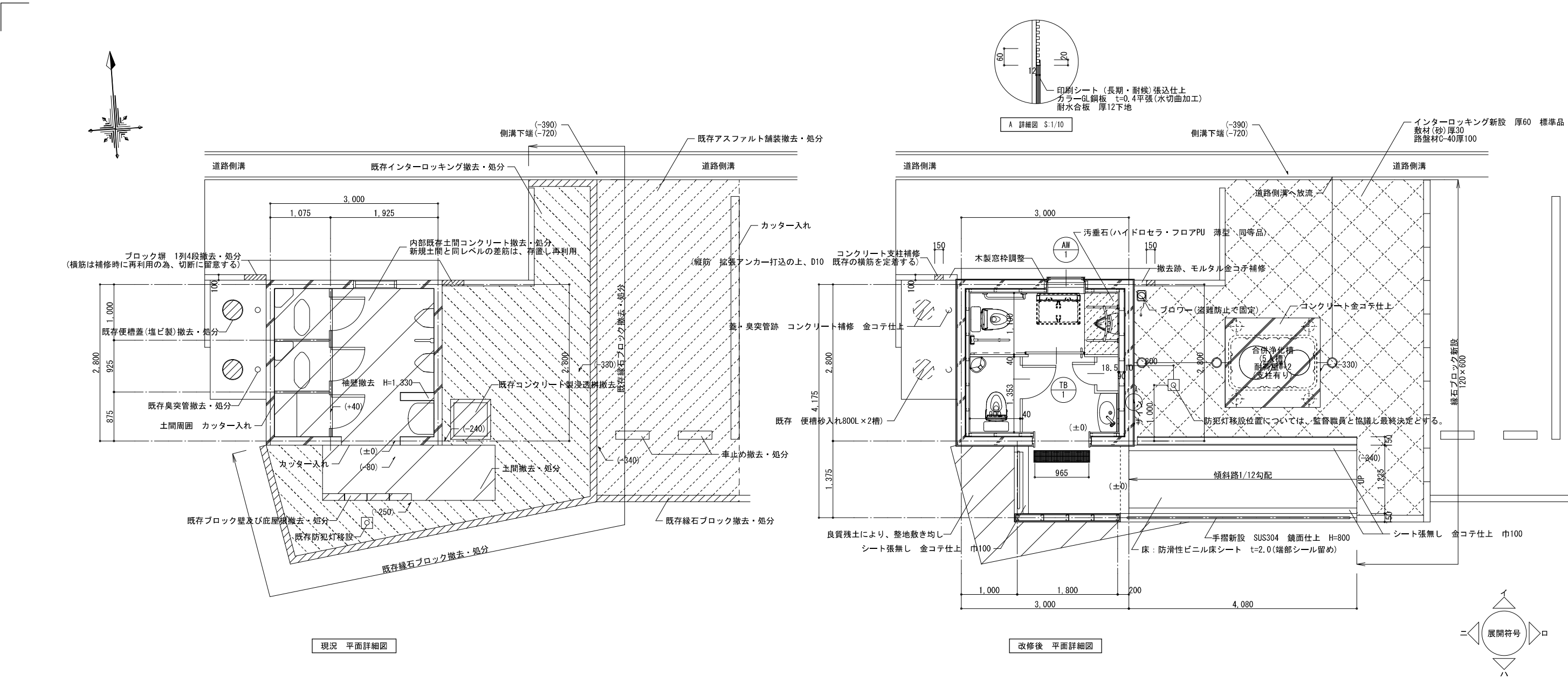
① 材料	[7. 1. 3]	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ ・防火材料 ※室内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・行う (箇所) ・行わない ()																																																																																																																																																																							
② 下地調整	[7. 2. 1～7]	塗替え R B種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※塗替え面積の30% ・図示 ・ 既存さび止め塗料の鉛含有調査 ・行う (箇所) ・行わない 下地調整 <table><tr><th rowspan="2">下地面の種類</th><th colspan="2">下地調整の種別</th><th rowspan="2">ひび割れ部の補修</th></tr><tr><th>塗替え</th><th>新規</th></tr><tr><td>木部</td><td>※R B種 ・</td><td>・R A種 ・R B種</td><td>―</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>※R B種 ・</td><td>・R A種</td><td>―</td></tr><tr><td>亜鉛めっき面</td><td>※R B種 ・</td><td>・R A種</td><td>―</td></tr><tr><td>亜鉛めっき面 (鋼製建具等)</td><td>※R B種 ・</td><td>・R C種</td><td>―</td></tr><tr><td>モルタル、プaster一面</td><td>※R B種 ・</td><td>・R A種 ・R B種</td><td>・行う ・行わない</td></tr><tr><td>コンクリート面 (DP 以外)、 A L Cパネル面</td><td>※R B種 ・</td><td>・R A種</td><td>・行う ・行わない</td></tr><tr><td>押出成形セメント板面</td><td>・R A種 ・R B種 ・R C種</td><td>・R A種 ・R B種</td><td>・行う ・行わない</td></tr><tr><td>コンクリート面 (D P)</td><td>・R B種 ・R C種</td><td>・R A種</td><td>・行う ・行わない</td></tr><tr><td>セっこうボード面及び その他ボード面</td><td>※R B種 ・</td><td>・R A種 ・R B種</td><td>―</td></tr></table> 錆止め塗料塗りの種別 [7. 3. 2、3] <table><tr><th colspan="2">塗 装 面</th><th>塗料の種別</th><th>工程の種別</th></tr><tr><td rowspan="6">鉄鋼面</td><td rowspan="3">E P－G 以外</td><td>塗替え</td><td>A種 ※C種 ・</td></tr><tr><td>新規見え掛り</td><td>A種 ※A種 ・</td></tr><tr><td>新規見え隠れ</td><td>A種 ※B種 ・</td></tr><tr><td rowspan="3">E P－G</td><td>塗替え</td><td>※B種 ・A種 ※C種 ・</td></tr><tr><td>新規見え掛り</td><td>※B種 ・A種 ※A種 ・</td></tr><tr><td>新規見え隠れ</td><td>※B種 ・A種 ※B種 ・</td></tr><tr><td rowspan="4">亜鉛めっき 鋼面</td><td rowspan="2">E P－G 以外</td><td>塗替え</td><td>※A種 ・B種 ※A種 ・</td></tr><tr><td>新規鋼製建具等</td><td>※A種 ・B種 ※A種 ・</td></tr><tr><td rowspan="2">E P－G</td><td>塗替え</td><td>C種 ※C種 ・</td></tr><tr><td>新規鋼製建具等</td><td>C種 ※A種 ・</td></tr></table> [7. 4. 2～7. 14. 2] <table><tr><th rowspan="2">塗装の種類</th><th rowspan="2">塗装面</th><th colspan="2">工 程</th></tr><tr><th>塗替え</th><th>新規</th></tr><tr><td rowspan="10">・合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP) 塗料の種類 ※1種 ・2種 ・クリヤラッカー塗り (CL) ・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE) ・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) ・耐候性塗料塗り (DP)</td><td>木部屋外</td><td>※B種 ・</td><td>※A種 ・</td></tr><tr><td>木部屋内</td><td>※B種 ・</td><td>※B種 ・</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>※B種 ・</td><td>※B種 ・A種</td></tr><tr><td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)</td><td>※A種 ・</td><td>※B種 ・</td></tr><tr><td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)</td><td>※B種 ・</td><td>※B種 ・</td></tr><tr><td>※クリヤラッカー塗り (CL)</td><td>※B種 ・A種</td><td>※B種 ・A種</td></tr><tr><td>―</td><td>―</td><td>―</td></tr><tr><td>―</td><td>―</td><td>―</td></tr><tr><td>コンクリート面及び押出成形 セメント板面</td><td>・</td><td>・A－1種 ・B－1種 ・C－1種</td></tr><tr><td>・つや有合成樹脂 エマルション ペイント (EP-G)</td><td>※B種 ・</td><td>・A種 ・B種</td></tr><tr><td rowspan="10">○合成樹脂エマルション ペイント塗り (EP) ・合成樹脂エマルション 模様塗料塗り (EP-T) ・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) ・オイルステイン塗り (OS) ・木材保護塗料塗り (WP)</td><td>コンクリート面等</td><td>※B種 ・</td><td>・A種 ・B種</td></tr><tr><td>屋内の木部</td><td>※B種 ・</td><td>※A種 ・</td></tr><tr><td>屋内の鉄鋼面</td><td>※B種 ・</td><td>・A種 ・B種</td></tr><tr><td>屋内の亜鉛めっき鋼面</td><td>※B種 ・</td><td>・A種 ・B種</td></tr><tr><td>―</td><td>―</td><td>―</td></tr><tr><td>―</td><td>―</td><td>―</td></tr><tr><td>―</td><td>―</td><td>―</td></tr><tr><td>―</td><td>―</td><td>―</td></tr><tr><td>―</td><td>―</td><td>―</td></tr><tr><td>―</td><td>―</td><td>―</td></tr><tr><td rowspan="4">・高日射反射率塗料塗り 下地調整 (改修標準仕様書 表7. 2. 2)</td><td>―</td><td>・R A種 ・R B種 ・R C種</td><td>―</td></tr><tr><td>―</td><td>―</td><td>―</td></tr><tr><td>―</td><td>―</td><td>―</td></tr><tr><td>―</td><td>―</td><td>―</td></tr><tr><td rowspan="2">工 程</td><td colspan="3">塗料その他</td></tr><tr><td>規格番号</td><td>規格名称</td><td>種類 等級</td></tr><tr><td rowspan="2">塗料塗り</td><td>JIS K 5675</td><td>屋根用高日射反射率塗料</td><td>2種 ・1級 ・2級 ・3級</td></tr><tr><td colspan="2">塗料製造所の仕様による</td><td>―</td></tr></table>	下地面の種類	下地調整の種別		ひび割れ部の補修	塗替え	新規	木部	※R B種 ・	・R A種 ・R B種	―	鉄鋼面	※R B種 ・	・R A種	―	亜鉛めっき面	※R B種 ・	・R A種	―	亜鉛めっき面 (鋼製建具等)	※R B種 ・	・R C種	―	モルタル、プaster一面	※R B種 ・	・R A種 ・R B種	・行う ・行わない	コンクリート面 (DP 以外)、 A L Cパネル面	※R B種 ・	・R A種	・行う ・行わない	押出成形セメント板面	・R A種 ・R B種 ・R C種	・R A種 ・R B種	・行う ・行わない	コンクリート面 (D P)	・R B種 ・R C種	・R A種	・行う ・行わない	セっこうボード面及び その他ボード面	※R B種 ・	・R A種 ・R B種	―	塗 装 面		塗料の種別	工程の種別	鉄鋼面	E P－G 以外	塗替え	A種 ※C種 ・	新規見え掛り	A種 ※A種 ・	新規見え隠れ	A種 ※B種 ・	E P－G	塗替え	※B種 ・A種 ※C種 ・	新規見え掛り	※B種 ・A種 ※A種 ・	新規見え隠れ	※B種 ・A種 ※B種 ・	亜鉛めっき 鋼面	E P－G 以外	塗替え	※A種 ・B種 ※A種 ・	新規鋼製建具等	※A種 ・B種 ※A種 ・	E P－G	塗替え	C種 ※C種 ・	新規鋼製建具等	C種 ※A種 ・	塗装の種類	塗装面	工 程		塗替え	新規	・合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP) 塗料の種類 ※1種 ・2種 ・クリヤラッカー塗り (CL) ・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE) ・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) ・耐候性塗料塗り (DP)	木部屋外	※B種 ・	※A種 ・	木部屋内	※B種 ・	※B種 ・	鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・A種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※A種 ・	※B種 ・	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種 ・	※B種 ・	※クリヤラッカー塗り (CL)	※B種 ・A種	※B種 ・A種	―	―	―	―	―	―	コンクリート面及び押出成形 セメント板面	・	・A－1種 ・B－1種 ・C－1種	・つや有合成樹脂 エマルション ペイント (EP-G)	※B種 ・	・A種 ・B種	○合成樹脂エマルション ペイント塗り (EP) ・合成樹脂エマルション 模様塗料塗り (EP-T) ・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) ・オイルステイン塗り (OS) ・木材保護塗料塗り (WP)	コンクリート面等	※B種 ・	・A種 ・B種	屋内の木部	※B種 ・	※A種 ・	屋内の鉄鋼面	※B種 ・	・A種 ・B種	屋内の亜鉛めっき鋼面	※B種 ・	・A種 ・B種	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	・高日射反射率塗料塗り 下地調整 (改修標準仕様書 表7. 2. 2)	―	・R A種 ・R B種 ・R C種	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	工 程	塗料その他			規格番号	規格名称	種類 等級	塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種 ・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による		―
下地面の種類	下地調整の種別			ひび割れ部の補修																																																																																																																																																																					
	塗替え	新規																																																																																																																																																																							
木部	※R B種 ・	・R A種 ・R B種	―																																																																																																																																																																						
鉄鋼面	※R B種 ・	・R A種	―																																																																																																																																																																						
亜鉛めっき面	※R B種 ・	・R A種	―																																																																																																																																																																						
亜鉛めっき面 (鋼製建具等)	※R B種 ・	・R C種	―																																																																																																																																																																						
モルタル、プaster一面	※R B種 ・	・R A種 ・R B種	・行う ・行わない																																																																																																																																																																						
コンクリート面 (DP 以外)、 A L Cパネル面	※R B種 ・	・R A種	・行う ・行わない																																																																																																																																																																						
押出成形セメント板面	・R A種 ・R B種 ・R C種	・R A種 ・R B種	・行う ・行わない																																																																																																																																																																						
コンクリート面 (D P)	・R B種 ・R C種	・R A種	・行う ・行わない																																																																																																																																																																						
セっこうボード面及び その他ボード面	※R B種 ・	・R A種 ・R B種	―																																																																																																																																																																						
塗 装 面		塗料の種別	工程の種別																																																																																																																																																																						
鉄鋼面	E P－G 以外	塗替え	A種 ※C種 ・																																																																																																																																																																						
		新規見え掛り	A種 ※A種 ・																																																																																																																																																																						
		新規見え隠れ	A種 ※B種 ・																																																																																																																																																																						
	E P－G	塗替え	※B種 ・A種 ※C種 ・																																																																																																																																																																						
		新規見え掛り	※B種 ・A種 ※A種 ・																																																																																																																																																																						
		新規見え隠れ	※B種 ・A種 ※B種 ・																																																																																																																																																																						
亜鉛めっき 鋼面	E P－G 以外	塗替え	※A種 ・B種 ※A種 ・																																																																																																																																																																						
		新規鋼製建具等	※A種 ・B種 ※A種 ・																																																																																																																																																																						
	E P－G	塗替え	C種 ※C種 ・																																																																																																																																																																						
		新規鋼製建具等	C種 ※A種 ・																																																																																																																																																																						
塗装の種類	塗装面	工 程																																																																																																																																																																							
		塗替え	新規																																																																																																																																																																						
・合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP) 塗料の種類 ※1種 ・2種 ・クリヤラッカー塗り (CL) ・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE) ・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) ・耐候性塗料塗り (DP)	木部屋外	※B種 ・	※A種 ・																																																																																																																																																																						
	木部屋内	※B種 ・	※B種 ・																																																																																																																																																																						
	鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・A種																																																																																																																																																																						
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※A種 ・	※B種 ・																																																																																																																																																																						
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種 ・	※B種 ・																																																																																																																																																																						
	※クリヤラッカー塗り (CL)	※B種 ・A種	※B種 ・A種																																																																																																																																																																						
	―	―	―																																																																																																																																																																						
	―	―	―																																																																																																																																																																						
	コンクリート面及び押出成形 セメント板面	・	・A－1種 ・B－1種 ・C－1種																																																																																																																																																																						
	・つや有合成樹脂 エマルション ペイント (EP-G)	※B種 ・	・A種 ・B種																																																																																																																																																																						
○合成樹脂エマルション ペイント塗り (EP) ・合成樹脂エマルション 模様塗料塗り (EP-T) ・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) ・オイルステイン塗り (OS) ・木材保護塗料塗り (WP)	コンクリート面等	※B種 ・	・A種 ・B種																																																																																																																																																																						
	屋内の木部	※B種 ・	※A種 ・																																																																																																																																																																						
	屋内の鉄鋼面	※B種 ・	・A種 ・B種																																																																																																																																																																						
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※B種 ・	・A種 ・B種																																																																																																																																																																						
	―	―	―																																																																																																																																																																						
	―	―	―																																																																																																																																																																						
	―	―	―																																																																																																																																																																						
	―	―	―																																																																																																																																																																						
	―	―	―																																																																																																																																																																						
	―	―	―																																																																																																																																																																						
・高日射反射率塗料塗り 下地調整 (改修標準仕様書 表7. 2. 2)	―	・R A種 ・R B種 ・R C種	―																																																																																																																																																																						
	―	―	―																																																																																																																																																																						
	―	―	―																																																																																																																																																																						
	―	―	―																																																																																																																																																																						
工 程	塗料その他																																																																																																																																																																								
	規格番号	規格名称	種類 等級																																																																																																																																																																						
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種 ・1級 ・2級 ・3級																																																																																																																																																																						
	塗料製造所の仕様による		―																																																																																																																																																																						



付近見取図

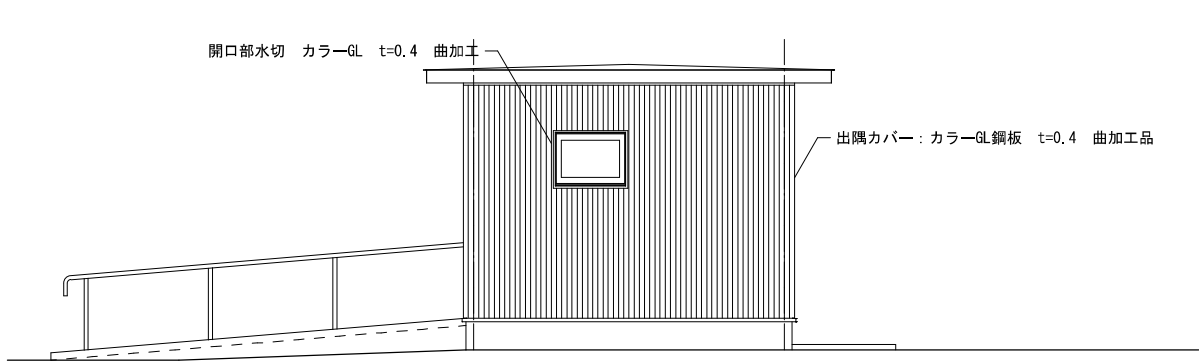


床面積求積図 S:1/200

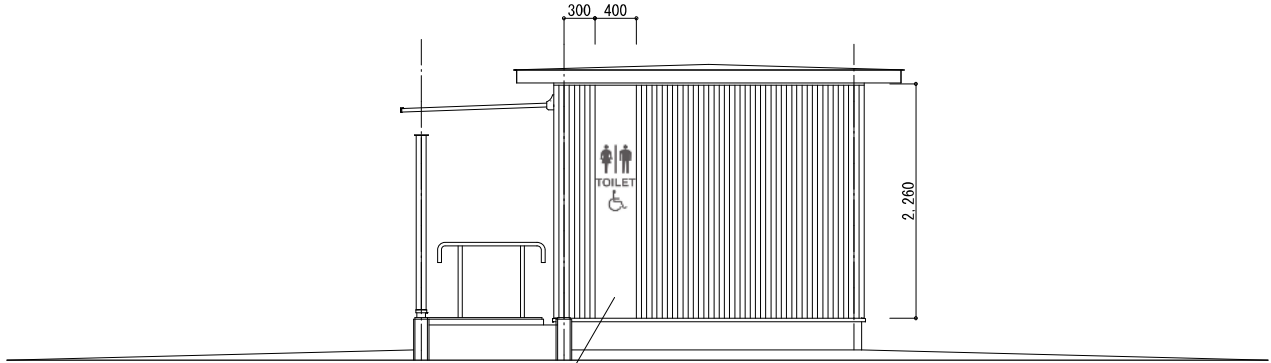


内部仕上		
部 位	現況仕上	撤去工事
床	磁器質タイル50角タイル モルタル金コテ下地	全面 土間撤去・処分
巾木	—	—
腰壁	磁器質100角タイル	高圧洗浄(15MPa程度)
壁	コンクリート EP塗り	高圧洗浄(15MPa程度)
天井	コンクリート EP塗り	高圧洗浄(15MPa程度)
その他	トイレブース	撤去・処分
	衛生器具	撤去・処分(設備)
	照明器具撤去	撤去・処分(設備)

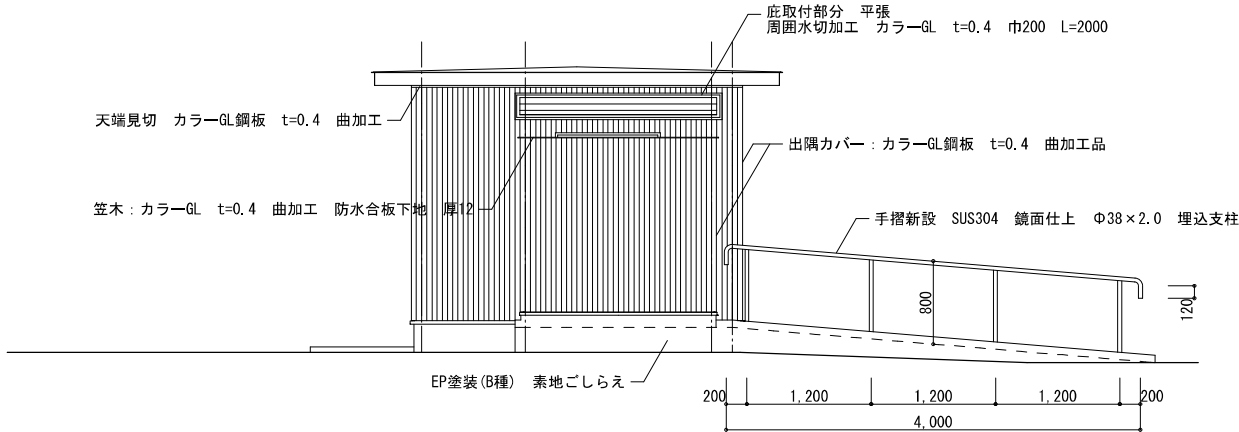
内部仕上		
部 位	改修工事	参考仕様
床	防滑性ビニル床シート t=2.0 コンクリート金コテ張物下地	㈱サンゲツ ノンスキッド同等品
巾木	床仕上材 巻上げ H=90	—
腰壁	—	—
壁	化粧珪酸カルシウム板 t=6.0 耐水石膏ボード t=12.5下地 LGS壁下地幅50 一部幅90	
天井	EP-G塗装(B種) 下地調整(R8種)	
その他	トイレブース	建具表参照
	衛生器具	設備図参照
	照明器具撤去	設備図参照



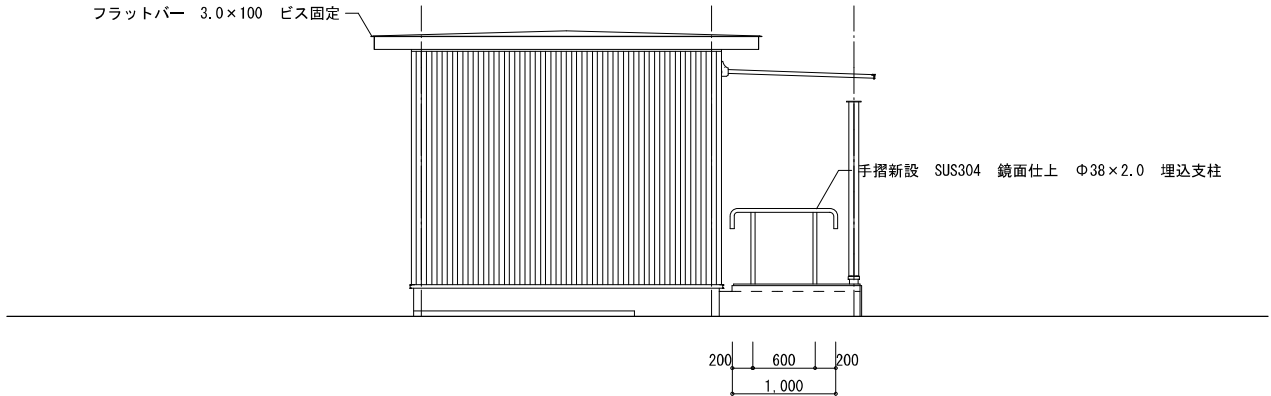
改修後 北側 立面図



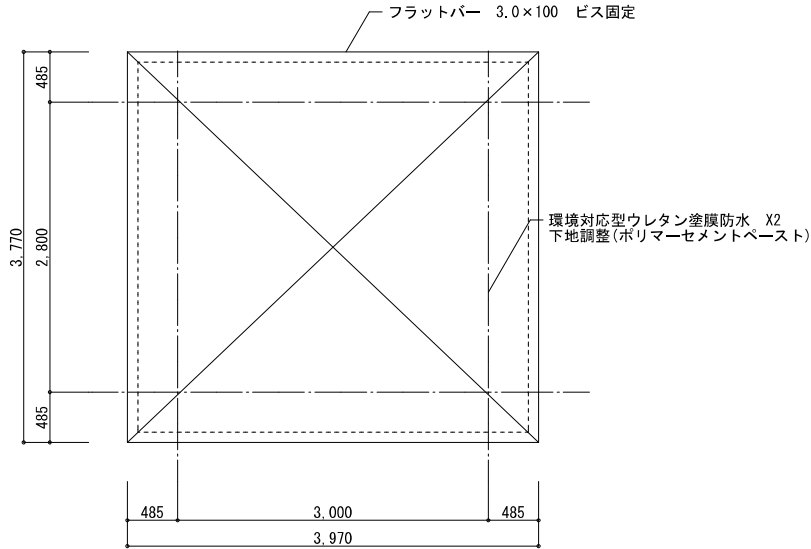
改修後 東側 立面図



改修後 南側 立面図



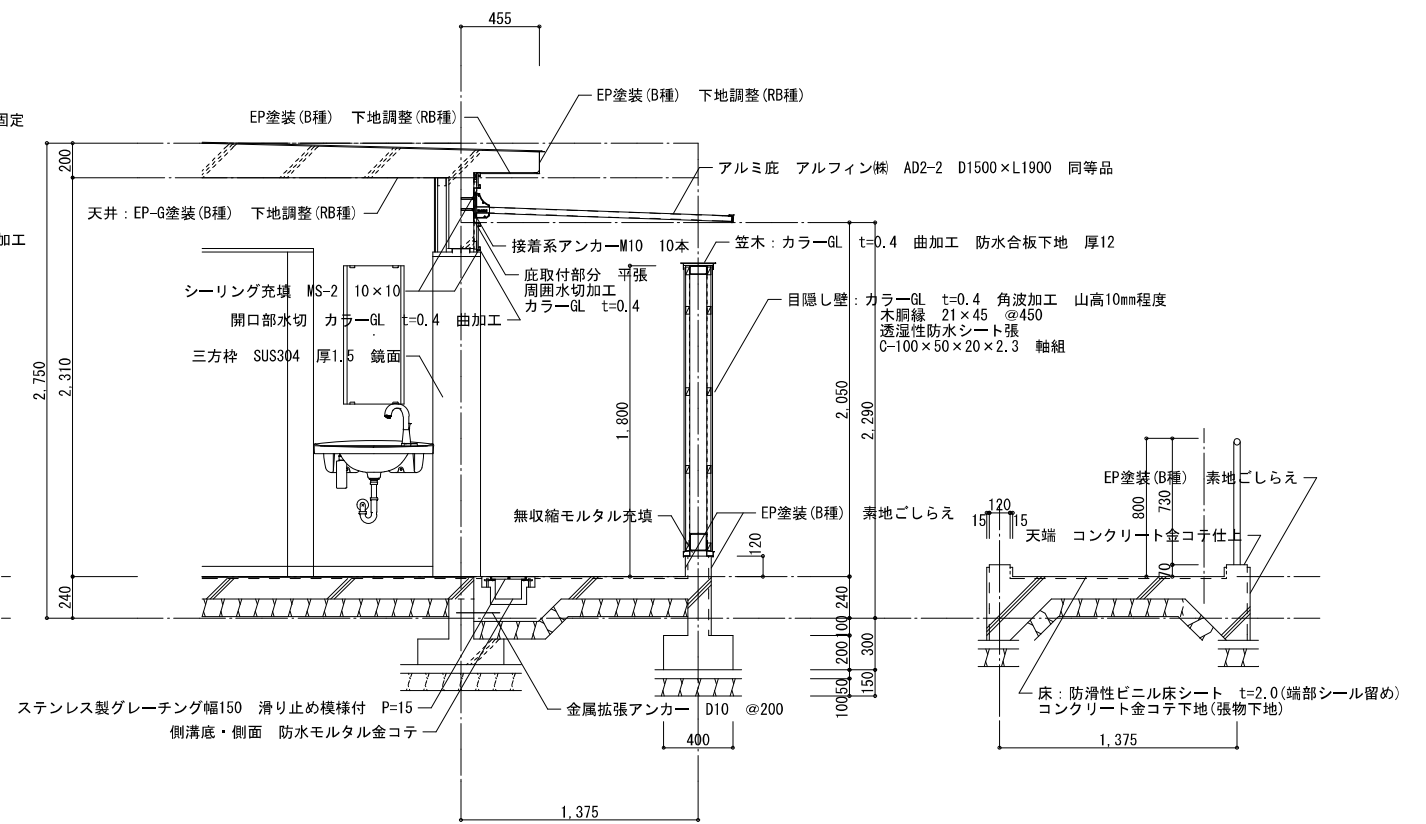
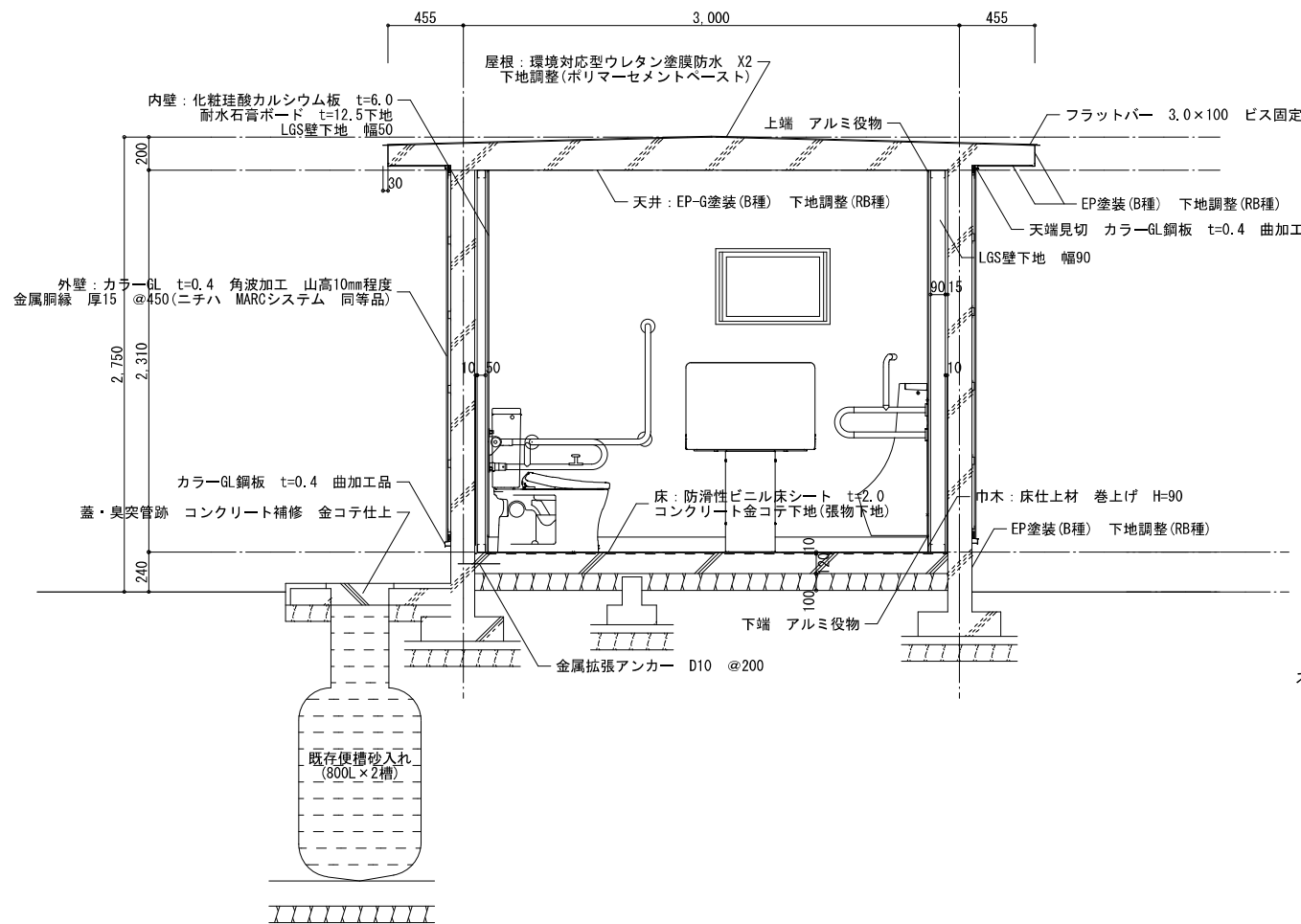
改修後 西側 立面図

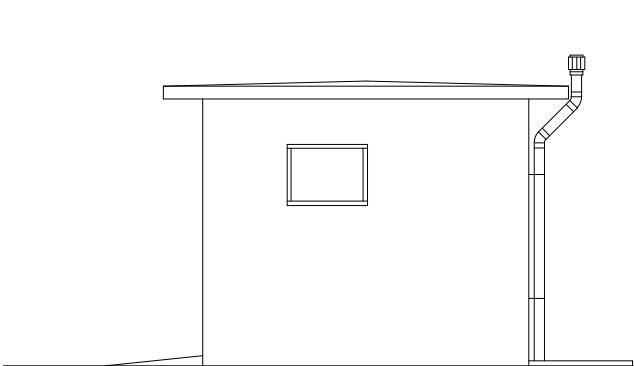


改修後 屋根伏図

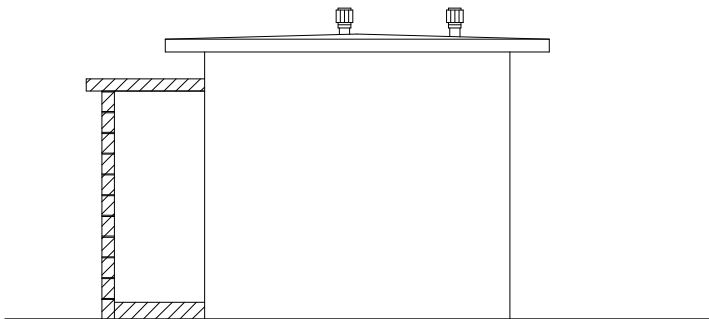
外部仕上 (改修部)

部 位	改修工事	参考仕様
屋根	環境対応型ウレタン塗膜防水 X2 下地調整 (ポリマーセメントペースト)	—
軒天	EP塗装 (B種) 下地調整 (RB種)	—
外壁	カラーGL t=0.4 角波加工 山高10mm程度 金属胴縁 厚15 @450 (ニチハ MARCシステム 同等品)	—
根廻	EP塗装 (B種) 下地調整 (RB種)	—
土台水切	カラーGL鋼板 t=0.4 曲加工品	—

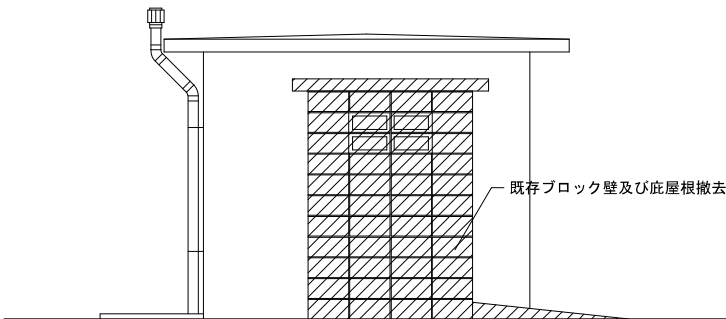




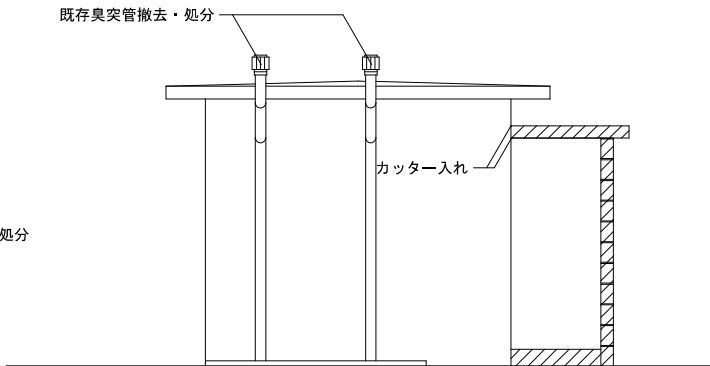
現況 北側立面図 S:1/50



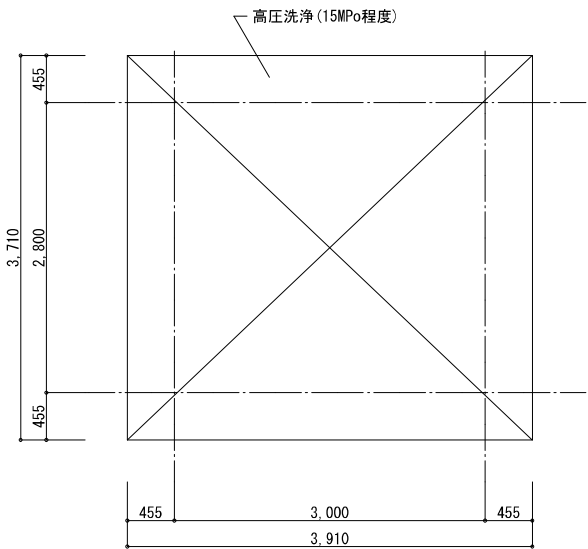
現況 東側立面図 S:1/50



現況 南側立面図 S:1/50



現況 北側立面図 S:1/50



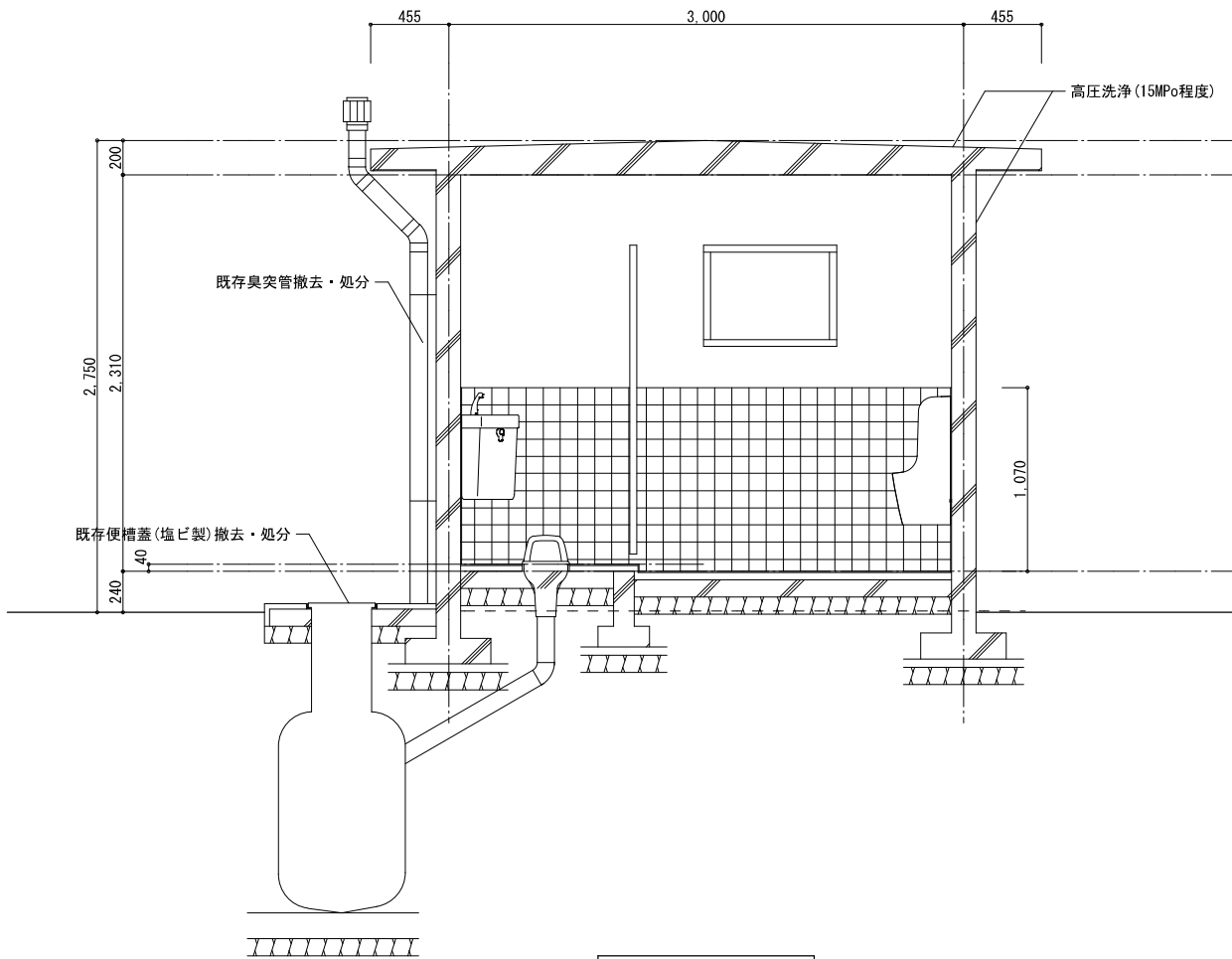
現況 屋根伏図

外部仕上(改修部)

部 位	現況仕上	撤去工事
屋根	防水モルタル仕上	高圧洗浄(15MPa程度)
軒天	コンクリート打放し 吹付仕上	高圧洗浄(15MPa程度)
外壁	コンクリート打放し 吹付仕上	高圧洗浄(15MPa程度)
根廻	コンクリート打放し 吹付仕上	高圧洗浄(15MPa程度)
土台水切		
その他	目隠し壁(CB造)	撤去・処分
	庇屋根	撤去・処分
	傾斜路・外部土間	撤去・処分
	便槽	埋戻し

内部仕上

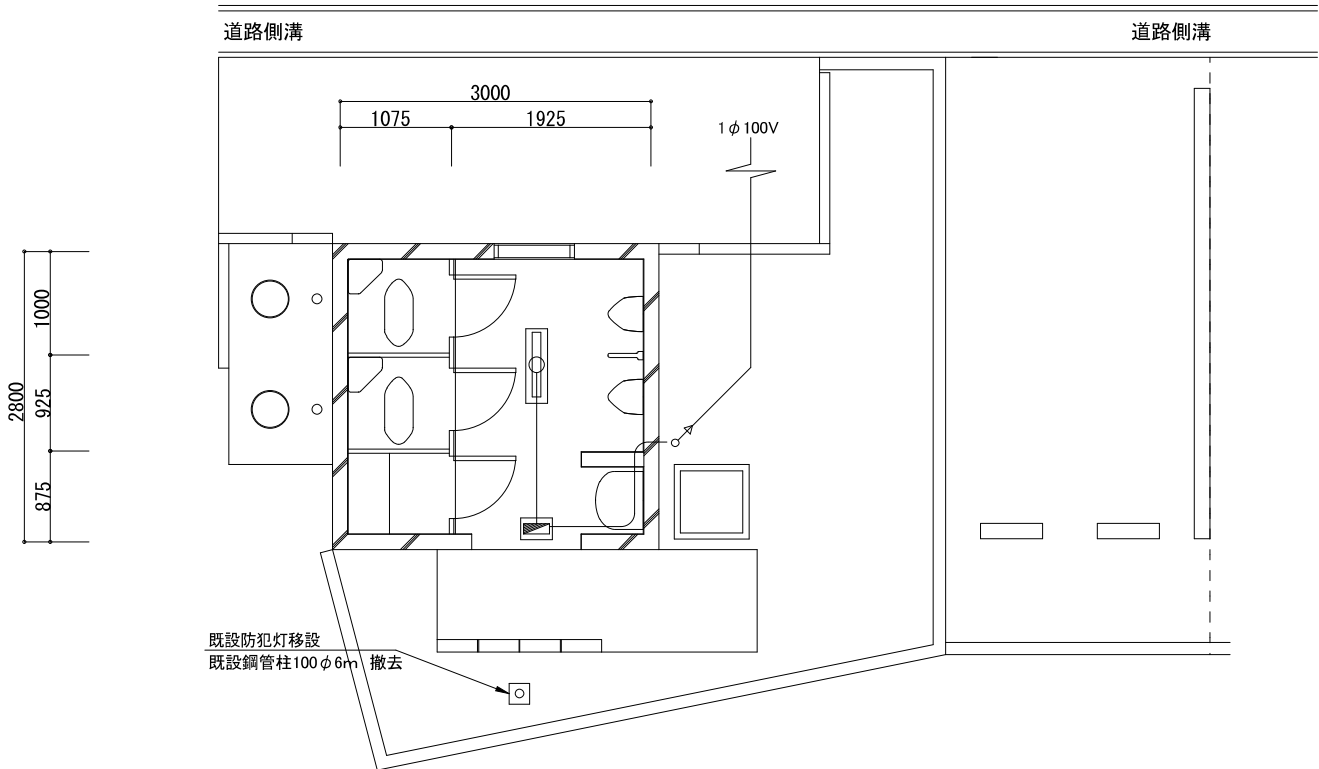
部 位	現況仕上	撤去工事
床	磁器質タイル50角タイル モルタル金コテ下地	土間撤去・処分
巾木	――	――
腰壁	磁器質100角タイル	高圧洗浄(15MPa程度)
壁	コンクリート EP塗り	高圧洗浄(15MPa程度)
天井	コンクリート EP塗り	高圧洗浄(15MPa程度)
その他	トイレブース	撤去・処分
	衛生器具	撤去・処分(設備)
	照明器具撤去	撤去・処分(設備)



現況 断面詳細図 S:1/30

[illegible]

（注記）	
（１）図中特記なき配管配線は下記による。	
	VVF1.6—2C(Ve16)
	VVF1.6—3C(Ve16)



既設防犯灯移設
既設鋼管柱100φ6mm 撤去

撤去図

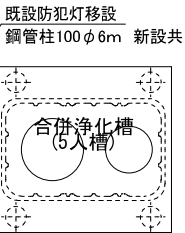
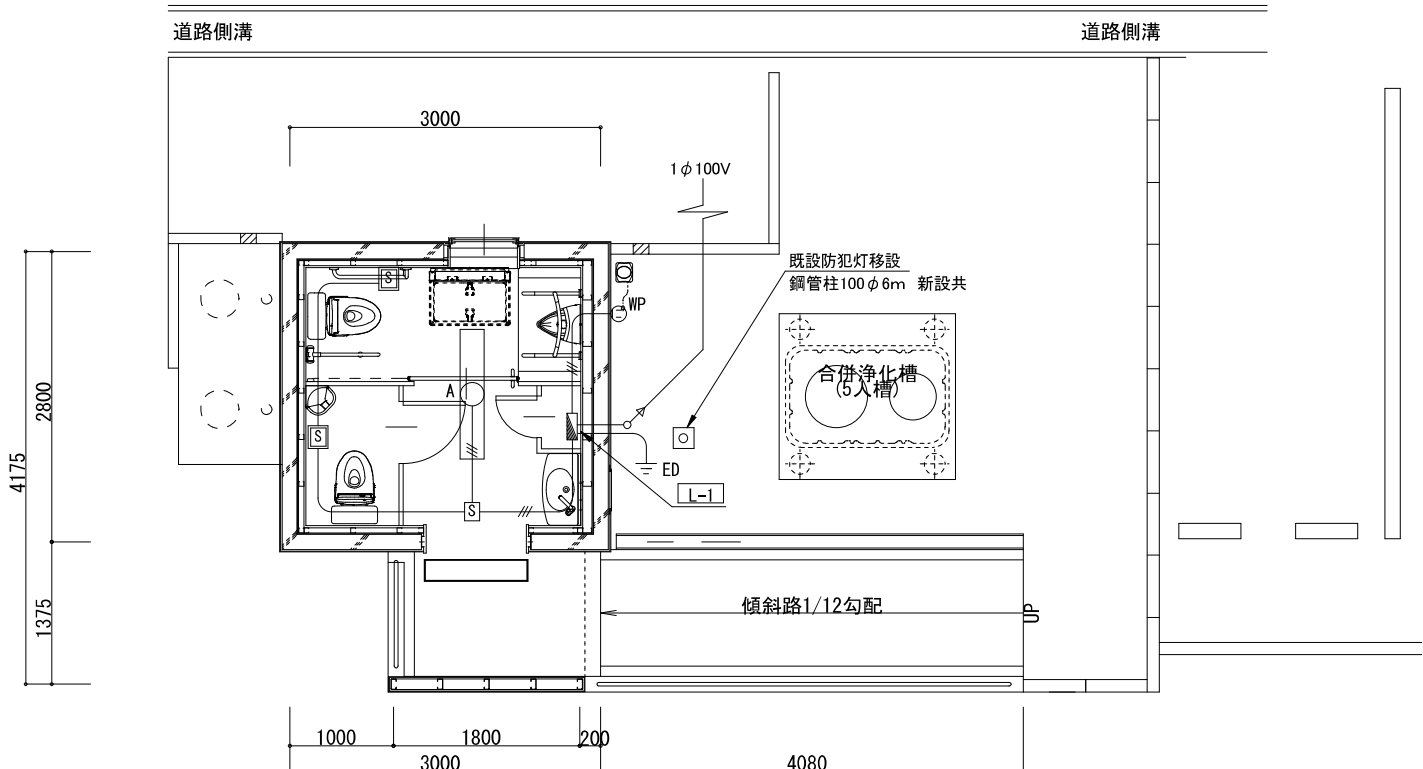
注記

- * 撤去器具を示す。
- * 配管配線については全撤去とする。

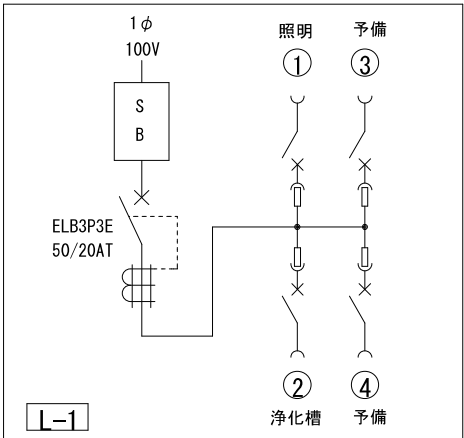
撤去器具表


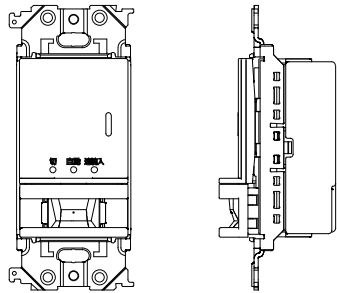
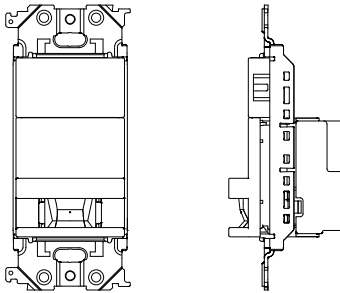
共通		数量
ホーム分電盤	MCB20AT×1	1
照明器具	FL20W	1

（注記）	
（１）図中特記なき配管配線は下記による。	
	VVF1.6—2C(Ve16)
	VVF1.6—3C(Ve16)



電気設備図
(改修)



A	LEDベースライト 40型	1	S	壁取付 熱線センサ付自動スイッチ (親機)	1	S	壁取付 熱線センサ付自動スイッチ (子機)	2
 <p>一般タイプ、2500lmタイプ 消費電力16.3W、定格出力型、電圧100～242V 本体：樹脂（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 色白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p> <p>パナソニック 直付X L X 4 2 0 D E N P L E 9</p>			 <p>WTA14119W</p>			 <p>WTA19119W</p>		

令和6年度　鵜方児童公園トイレ改修工事

仕様書（機械設備の部）

工 事 概 要

1. 工事場所　志度市阿武町鵜方一地区内

2. 建物概要
国：国有財産法延面積（㎡）建：建築基準法延面積（㎡）

建 物 名 称	構造及び階数	国・延面積	建・延面積	消防法施行令の適用	耐震区分	備　考

3. 工事種目（○印の付いたものが対象）

建築物及び屋外	工 事 種 別					
工事種目	屋内					
・空気調和設備						
・換気設備						
・排煙設備						
・自動制御設備						
・衛生器具設備	○					
・給水設備	○					
・排水設備	○					
・給湯設備						
・消火設備						
・厨房設備						
・ガス設備						
・浄化槽設備						

4. 指定部分　・　無　・　有
対象部分：_____

5. 設備概要（○印を付けたものは、本工事あるいは既設設備の概要を示すもので、仕様を規定するものではない。）

方式及び種別	設　　　備　　　概　　　要
・　空調方式 ・　主要熱源機器	・ ○○○○方式 ・ 冷水機 ・ パッケージ型空調調和機
・　自動制御方式	・ 電気式　・ 電子式　・ デジタル式
○　給水方式	○ 水道直結方式　・ 高置タンク方式　・ 圧力タンク方式 ・ ポンプ直送方式　・ 増圧給水直結方式
○　排水方式	建物内汚水、雑排水（○合流式　・ 分流式） ポンプ排水　・ 有（　・ 汚物　・ 雑排水　・ 湧水　） ・ 無 建物外放流先　汚　水　・ 直放流下水管　・ （　） 雑排水（　・ 直放流下水管　・ （　）
・　消火設備の種類	・ 屋内消火栓設備　・ スプリンクラー設備　・ 泡消火設備 ・ 連結放水設備　・ 連結送水管　・ 不活性ガス消火設備（　・ ）
・　ガスの種類	・ 都市ガス（種別　・ 発熱量　MJ/m ³ (N)、供給事業者名　） ・ 液化石油ガス（　・ ポンベ　・ バルブタンク　・ ）

工事区分表（図面に特記なき場合は工事区分表による）

項	目	機械設備	建築	電気設備	
開口部	開　鉄骨部材のはり貫通部	穴明け(補強を含む)			
	鉄骨鉄筋コンクリート部材のはり貫通部	スリープ			
	R部材のはりの貫通部	補強 スリープ			
	R部材の床・壁の貫通部	補強 スリープ 箱入れ			
	床デッキプレートの貫通部	補強 切り込み			
	開口部の穴埋め修繕				
	天井・軽鉄間仕切りの開口	ボードの切込み及び補強共			
	基礎等	屋上設置の設備機器の基礎 大形設備機器の基礎 防水層に影響する基礎 上記以外の機器の基礎 第4号アンカーボルト			
	外部取付ガラリ	ダクトチャンパの接続用フランジを含む			
換気扇	換気扇の取付枠				
	床下水槽のマンホールふた				
	湯沸室または台	排水トラップ共			
	湯沸室等の排気フード	ステンレス製天蓋			
	床・天井点検口				
	防油堤	建物内、油サービスタンの防油堤			
	電	機器付属の制御盤以降の二次側配管配線（接地共）			
	気	機器付属の制御盤への電源供給配管配線			
配管	配 自動制御室と動力室との電源供給の渡り配管配線				
	配 自動制御室と動力室との操作回路の渡り配管配線				
	配 機器と付属機器スイッチとの渡り配管配線（接地共）				
	線 温度感知器から運動制御室を経て防煙ダンパーに至る配管配線				
	小便器用排水装置の制御盤以降の二次側の配管配線				
	改 修 工 事	コンクリート壁、床など	はつり 荒補修 仕上げ補修		
	天井、壁などのボード類	撤去（ボード類のみ） 撤去（下地開口補強を含む） 復旧			

Ⅱ. 工 事 仕 様

1. 共通仕様

(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁官舎館部制定の標準仕様書等によるものとし、○印のついたものを適用する。

(2) 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「標準仕様書」という。）

(3) 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「改修標準仕様書」という。）

(4) 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「標準図」という。）

(5) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。

2. 特記仕様

(1) 章は●印の付いたものを適用し、項目及び特記事項は○印の付いたものを適用する。

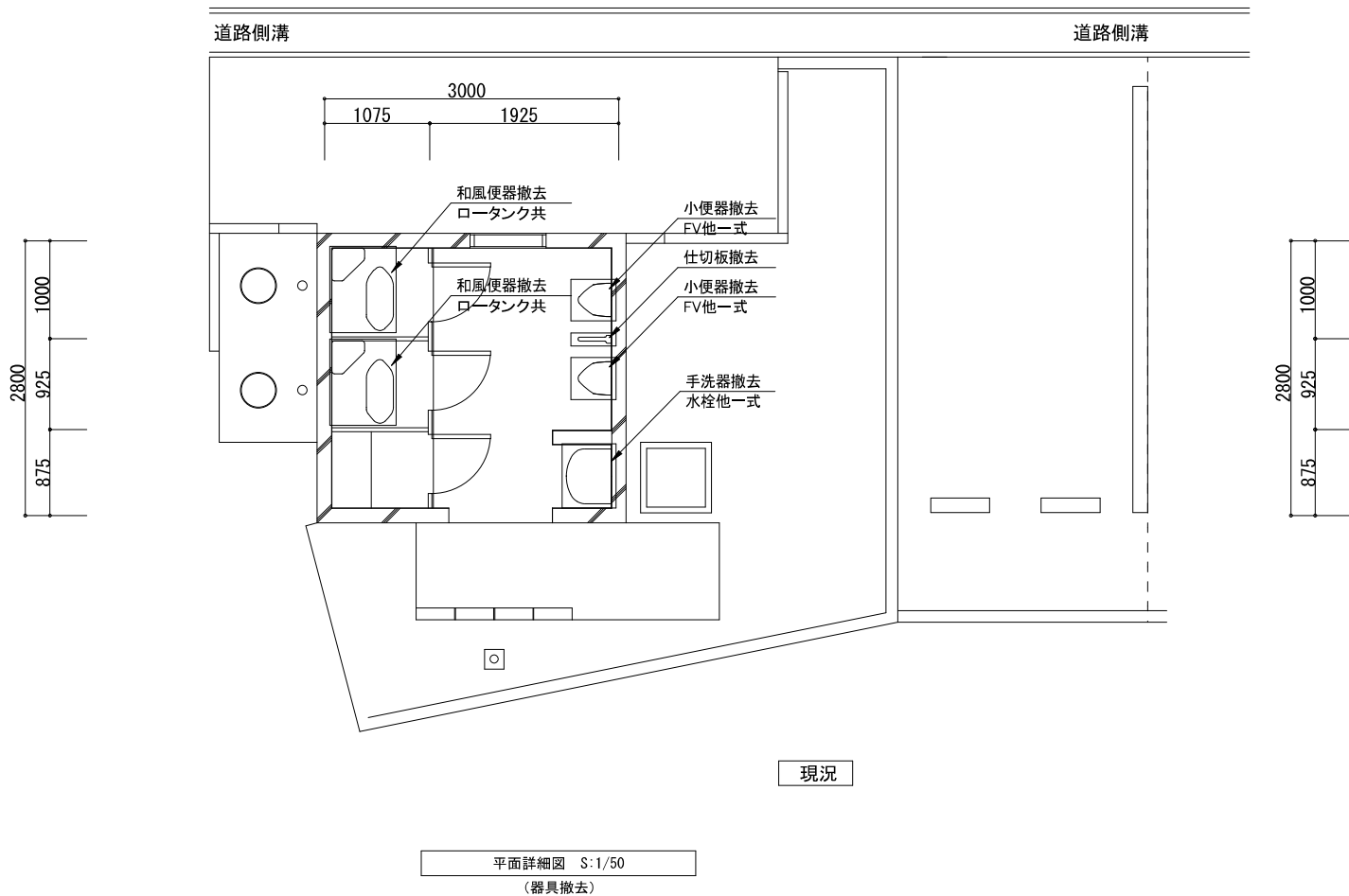
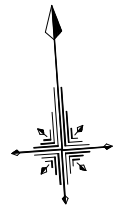
(2) 特記事項のうち選択する事項は○・印の付いたものを適用する。

(3) 受注者は、南海トラフ地震防災対策推進地域における工事にあつては、南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。


上記事実が発生した場合は、契約書第26条（諸種の措置）の規定による。

章 項 目	特 記 事 項																						
● ①発生材の処理等	金属類は引渡しを要するものとする。 ・ 特別管理産業廃棄物（　・ 別途工事　） ・ 構外搬出適切処理　・ 別途工事 ・ 石積含有品（　・ 配管用成形品保温材　・ フランジ用ガスケット（　・ 配管　・ ダクト）） ・ 有害製品　・ 別途工事 ・ 再生資源化を図るもの（　・ 塩ビライニング鋼管　・ 炭化リチウム　） ・ 構外搬出適切処理　・ 別途工事 上記以外のものの処理は構外搬出適切処理とする。																						
②特定建設資材の再資源化等	本工事は、特定建設資材を用いた建築物に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であつて、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律施工令」（平成12年1月29日政令第495号）又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号）に基づき分別解体方法及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになった欠点をええない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化率が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に要した費用を書面にて監督職員に報告する。 （書式は「建設副産物情報交換システム」で作成したものとする）																						
③建設発生土の処理方法	(1) 分別解体の方法 <table border="1"><thead><tr><th>工 程</th><th>作業内容</th><th>分別解体の方法</th></tr></thead><tbody><tr><td>・ 新築</td><td>建設設備工事</td><td>○ 手作業</td></tr><tr><td>・ 増築</td><td>○ 有</td><td>・ 手作業・機械作業併用</td></tr><tr><td>○ 修繕</td><td>・ 無</td><td></td></tr><tr><td>・ 模様替</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> (2) 特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をすす施設 <table border="1"><thead><tr><th>特定建設資材廃棄物の種類</th><th>再資源化等をすす施設名称</th><th>所 在 地</th></tr></thead><tbody><tr><td>・ コンク</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ コンクリート及び鉄から成る建設</td></tr></tbody></table>	工 程	作業内容	分別解体の方法	・ 新築	建設設備工事	○ 手作業	・ 増築	○ 有	・ 手作業・機械作業併用	○ 修繕	・ 無		・ 模様替			特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をすす施設名称	所 在 地	・ コンク			・ コンクリート及び鉄から成る建設
工 程	作業内容	分別解体の方法																					
・ 新築	建設設備工事	○ 手作業																					
・ 増築	○ 有	・ 手作業・機械作業併用																					
○ 修繕	・ 無																						
・ 模様替																							
特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をすす施設名称	所 在 地																					
・ コンク																							
・ コンクリート及び鉄から成る建設																							

章	項 目	特 記 事 項	別表－１
●衛生器具設備	①小 便 器 ②水 栓 ③掃 除 流 し 4.和風便器耐火カバー	洗浄水量は４Ｌ/回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。 ・カウンター取付け形 ・耐寒水栓（吊コマ） ・湯沸室流し用の水栓は泡沫式とする。 排水口は（ ・ ・ 目皿 ・ ・ 鎖付きゴム栓）とする。 和風便器の防火区画貫通処理は標準図による。	機 材 等 名 衛生器具ユニット 合併浄化槽
●給水設備	①配管材料 2.引き込み納付金 3.量 水 器 4.量水器枠 5.水 栓 柱 6.管の地中埋設深さ 7.凍結深度	(1)一般配管 ・ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４） ・塩ビライニング鋼管（ ・ ＶＡ又はＶＢ ・ ） ・ポリ粉体鋼管（ ・ ＰＡ又はＰＢ ・ ） ○ ＨＩＶＰ 上記の選択で、ポリ粉体鋼管又は塩ビライニング鋼管を使用する場合、厨房、浴室等のシンダー内配管はＰＤ又はＶＤとする。 (2)地中埋設配管 ・ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６）（ ・ 建物内 ・ 屋外部分） ・塩ビライニング鋼管（ＶＤ） ・ポリ粉体鋼管（ＰＤ） ・ポリエチレン管 (3)水道直結配管 引込みは水道事業者の指定による。量水器以降は、(1)及び(2)による。 ・要（ ・ ・ 本工事 ・ ・ 別途工事） ・ ・ 不要 観メーター（ ・ ・ 現地表示式（直読式） ・ ・ 遠隔表示式（ ・ ・ 電文式 ・ ・ バルス式 ） （ ・ ・ 貸与品 ・ ・ ） 観メーター（ ・ ・ 現地表示式（直読式） ・ ・ 遠隔表示式（ ・ ・ 電文式 ・ ・ バルス式 ） （ ・ ・ 貸与品 ・ ・ ） ・水道事業者指定品（ ・ ・ 貸与品 ・ ・ 買取り） ・ ・ 標準図ＭＣ形 ・合成樹脂製 ・ ステンレス製 ・ 人造石とぎ出し製 ・ アルミニウム合金製 ・埋設深さは原則として、車両通行部分では管の上端より（ ・ ・ 600mm ・ ・ mm）以上 その他の部分では管の上端より（ ・ ・ 300mm ・ ・ mm）以上 屋外配管の凍結深度は mm	
●排水設備	①配管材料 ②洗面器等の排水管 3.放流納付金 4.滴水試験継手	(1)屋内 汚水管 （及び屋外第一棟まで） ・排水用塩ビライニング鋼管 ・ ・コーティング鋼管 ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（ＲＦ－ＶＰ） ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ・ ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・ ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（ＲＦ－ＶＰ） ・硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・コーティング鋼管 雑排水管・通気管 ポンプアップ排水管 (2)屋外 樹間 ・硬質ポリ塩化ビニル管（ ・ ・ ＶＰ ・ ・ ＶＵ ） ・排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（ＲＥＰ－ＶＵ） ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（ＲＳ－ＶＵ） ・コンクリート管（ ・ ・ 外圧管１種のＢ形 ・ ・ ） リサイクルビニル管の適用範囲〔ＲＦ－ＶＰ〕：屋内の無圧の排水配管用 〔ＲＥＰ－ＶＵ〕：無圧排水用途の硬質塩化ビニル管 〔ＲＳ－ＶＵ〕：埋設部で無圧の一般流体輸送配管用 ②洗面器及び手洗器に直結する排水管は器具トラップより１サイズアップとする。 (2)給湯室台所流し等の床上部分の配管は、ビニル管（ＲＦ－ＶＰ）でもよい。 (3)大便器、小便器、洗面器及び掃除流しとの接続管は、ビニル管（ＲＦ－ＶＰ）とする。 ・要（ ・ ・ 本工事 ・ ・ 別途工事） ・ ・ 不要 図示の位置に取り付ける。	
○給湯設備	1.配管材料 2.保 温 3.そ の 他	給湯管（膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む） ・ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４） ・ 鋼管 ・耐熱性ライニング鋼管 ・ 被覆鋼管 ・保温付き被覆鋼管 ・ 架橋ポリエチレン管 標準仕様書第２編３．１．５によるほか、下記による。 ・湯沸器の給排気筒（二重管）の随べい箇所は表２．３．５のh・(イ)・Ⅹの保温を行う。 電気式給湯器等の膨張水排水を設ける。	
○消火設備	1.配管材料 2.屋内消火栓種別 3.屋内消火栓開閉弁 4.地中埋設配管の接合 5.保 温	(1)屋内消火栓 一般 ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） 地中 ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６） ・ (2)連結送水管 一般 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（Ｓｃｈ４０） 地中 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（ＳＴＰＧ－３７０ＶＳ） (3)連結散水用 ・ ・易操作性１号消火栓 ・ 広範囲型２号消火栓 ・ １号消火栓 ・ ２号消火栓 箱内に別途機器（発信機及び電鈴）取付用の板を設ける。 ・ １０Ｋ ・ 外面被覆鋼管の呼び径１００以下はねじ接合とする。 屋外露出部分 ・ 有（標準仕様書第２編３．１．５の給水管の項による。） ・ 無	
○厨房設備	1.機器の寸法 2.機器の機能等	概略寸法とする。 図示による。	
○ガス設備	1.配管材料 2.ガス充てん容器 3.ガスメーター 4.ガス漏れ警報器 5.気密試験	・都市ガス 一般ガス導管事業者の供給規定による。 ・液化石油ガス 一般配管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） 地中埋設配管 ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス用ポリエチレン管 ・ ・借用 ・ 本工事 観メーター（ ・ ・ 貸与品 ・ ・ ） 観メーターの形式（ ・ ・ 直読 ・ ・ バルス式） 子メーター（ ・ ・ 買取り ・ ・ ） 子メーターの形式（ ・ ・ 直読 ・ ・ バルス式） ・本工事（図示による） 外部出力端子 ・ 有 ・ 無 ・別途工事 都市ガス 一般ガス導管事業者の供給規定による。 液化石油ガス 保持時間は、２４分以上とし記録計による測定表を提出する。	
●槽浄化設備	①形 式 2.測定表	○ユニット形 ・ 現場施工形 一定期間経過後、放流水質性能等を記入した測定表を提出する。	

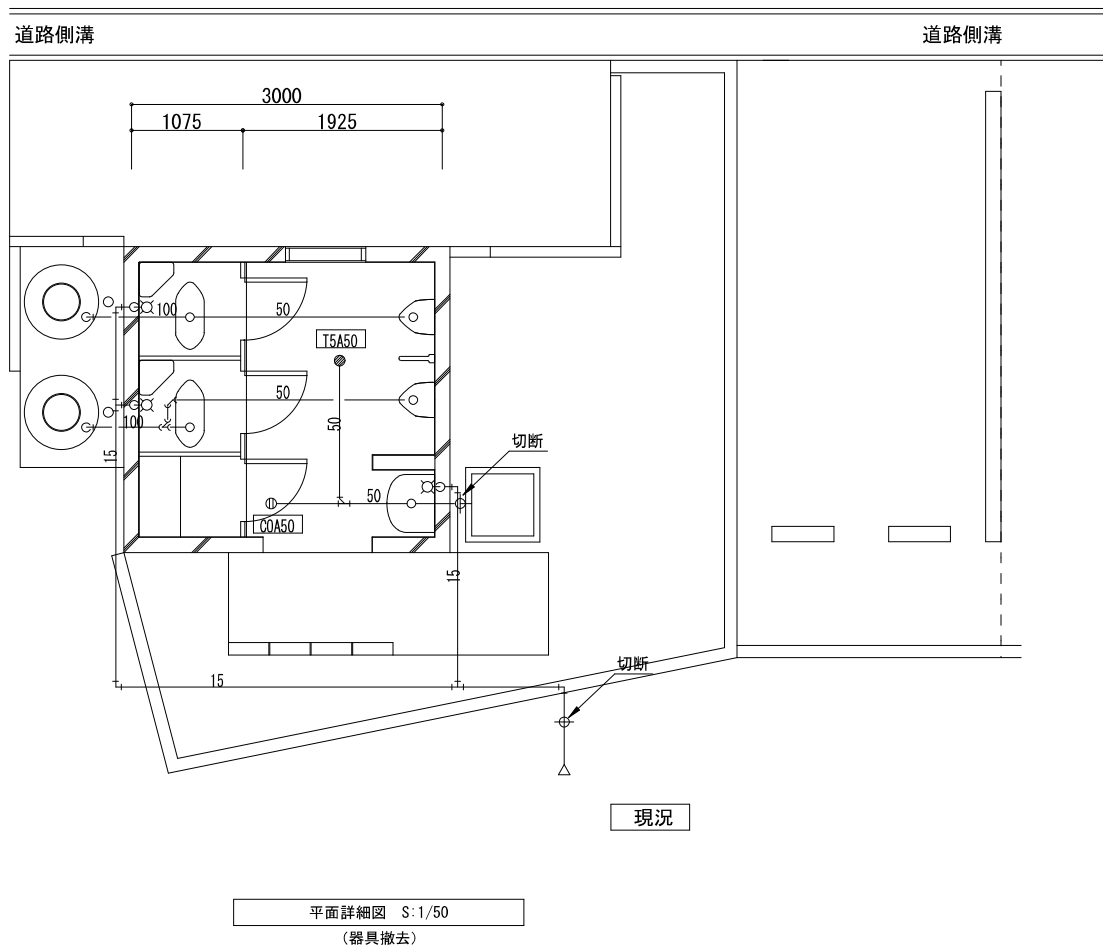


注記

- *  撤去機器 (処分) を示す。
- * 機器撤去については金具等一式とする。

撤去器具表

共通		数量
和風大便器	洗浄管他一式	2
紙巻器	壁付	2
小便器	付属品共	2
仕切板		1
洗面器	水栓・付属品共	1

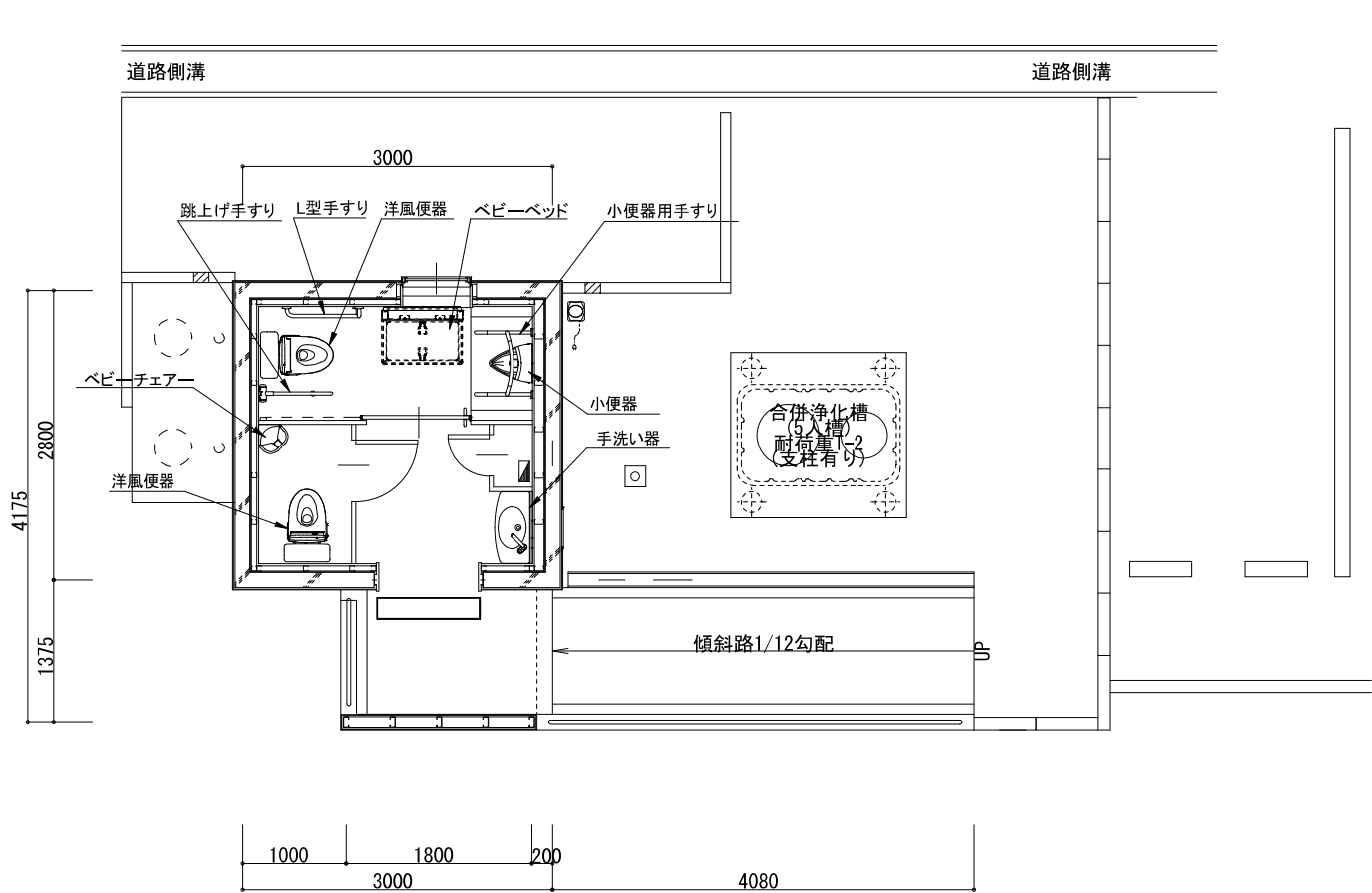


注記

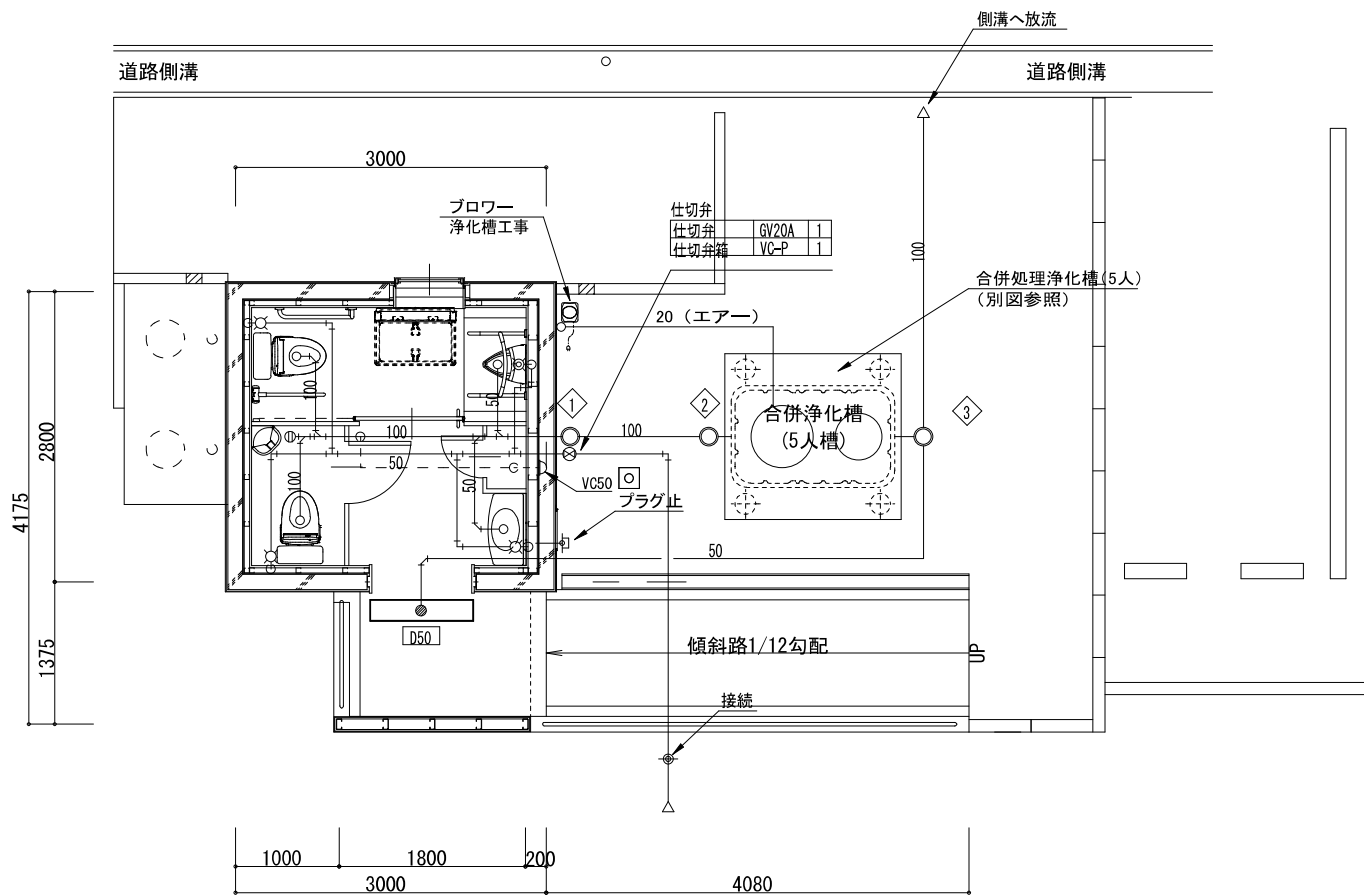
- * 図中は既設配管を示し参考とする。
- * φ 配管切断を示す。
- * 不要になる配管については後続の配管に支障となる部分のみ撤去しそれ以外は現状まま残置とする。

配管切断リスト

外部		数量
給水用管	20A	1
雑排水	50A	1



改修後 平面詳細図



改修後 平面詳細図

衛生機器組合表

名 称	型 番 LIXIL	型 番 TOTO	1階		トイ レ	合 計
洋風便器	BC-220SK、DT-K250ML、CF-380X-K (普通便座・フタ無)、CF-9374、CF-63HS (棚付2連続巻器)	CS20AB SH30BA TC291J (普通便座・フタなし) YH701 (棚付2連続巻器)			1	1
手洗い器	L-275FORS、AH-300、UF-MN7PF、SF-10E、KF-300N、KF-24F、KF-4510A	L2700M TLE28SA1A TLDP2201JA TS126AR TL2202 YMA510FA			1	1
ベビーベッド	AG-8K-21F、KF-D17 (IP) ×3	YKA25N YPH62018W2R ×3 T110028			1	1
L型手すり	KF-920AE70012J、KF-D16 ×3	T1120L10 T110016 ×2 T110025			1	1
跳ね上げ手すり	KF-471EH700J、KF-D19	T112HK8R T110025			1	1
洋風便器	BC-P20HJM、DT-PK250HUCH、CF-38AT (普通便座)、CF-200S、CF-63HS (棚付2連続巻器)	CS597MCS SH596BAYR TC291 (普通便座) YH701 (棚付2連続巻器)			1	1
小便器	U-A31MP (自動洗浄・自己発電式)	UF3910W (自動洗浄・自己発電式)			1	1
小便器用手すり	KF-701AEJ、KF-D16 ×4	T1120J22 T110015 ×4			1	1
ベビーチェアー	AG-8K-F6Z、KF-D17 (IP) ×3、AG-BC-F31	YKA16S YPH62017W2 T110028			1	1

注記

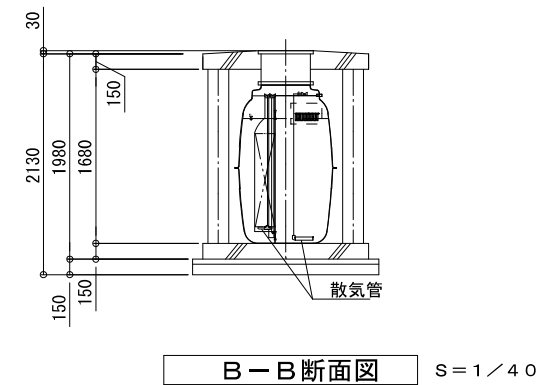
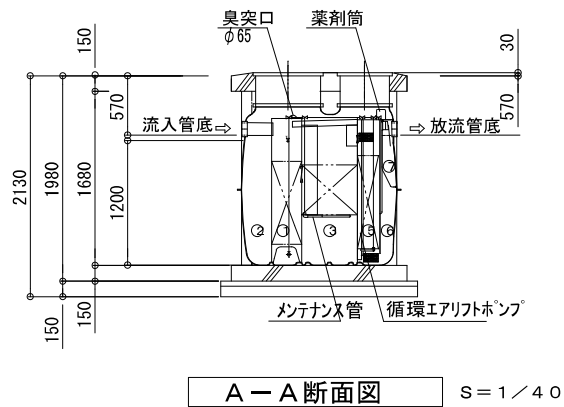
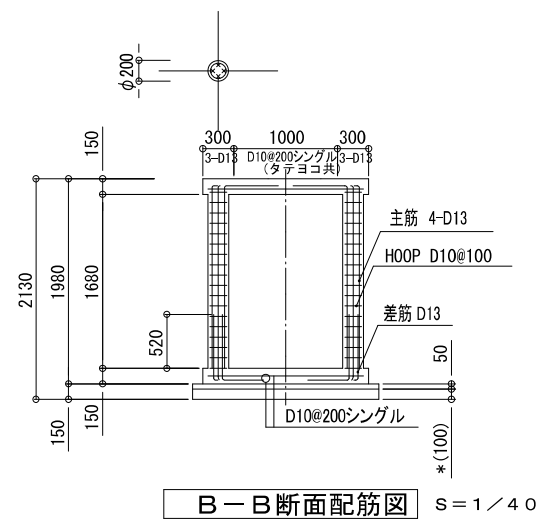
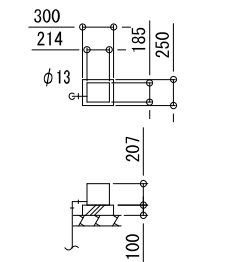
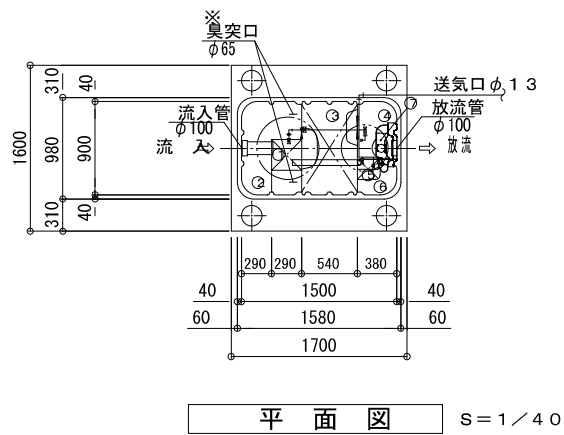
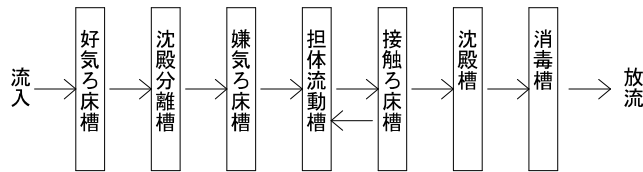
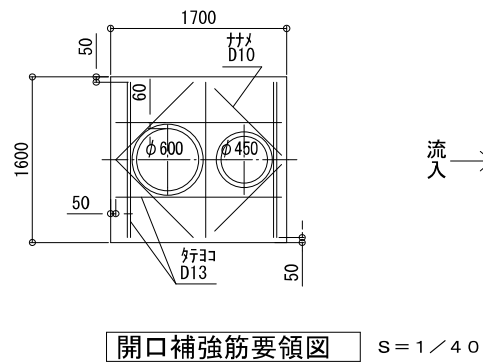
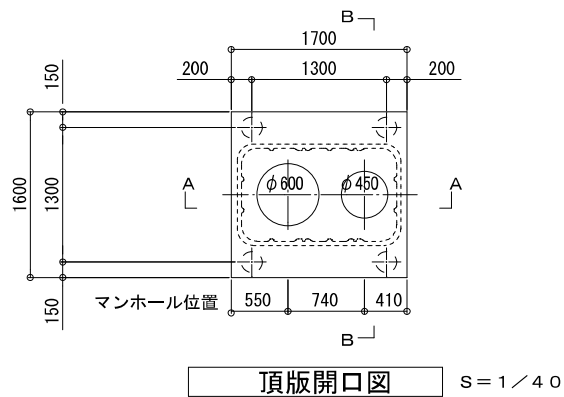
- * ④ 配管接続を示す。
- * ⑤ 配管プラグ止を示す。

配管接続リスト

外部		数量
給水用管	40A	1
雑排水	75A プラグ止	1
雑排水	100A 側溝	1

排水樹リスト

	記号	種類	管底深さ (GL-)	蓋種別	適用
①	S-2	ST	-450	塩ビ蓋	起点
②	S-2	ST	-570	塩ビ蓋	直流 (流入)
③	S-2	90L	-570	塩ビ蓋	合流 (放流)



参考図

仕様	
処理方法	担体流動接触ろ床循環方式
処理対象人員	5人
一人当り汚水量	0.2 m ³ /人・日
計画汚水量	1.0 m ³ /日
流入水BOD濃度	200 mg/L
放流水BOD濃度	20 mg/L
BOD除去率	90%以上
流入水T-N濃度	45 mg/L
放流水T-N濃度	20 mg/L
T-N除去率	56%以上
流入水SS濃度	160 mg/L
放流水SS濃度	15 mg/L
SS除去率	91%以上
有効容量 m ³	
① 好気ろ床槽	0.105
② 沈殿分離槽	0.432
③ 嫌気ろ床槽	0.528
④ 担体流動槽	0.205
⑤ 接触ろ床槽	0.040
⑥ 沈殿槽	0.083
⑦ 消毒槽	0.015
総容量	1.408
電気機器仕様	
送風機	60L/分 (0.015MPa)
	100V, 35W, 1台

特記事項						
使用材料	コンクリート		FC＝21－18（15）－20（25） 但し、捨てコン・無筋コンクリートは FC＝18N/mm ²			
	鉄筋		SD295A（規格品） 特記なき事項はJASS5による。			
配筋事項	継ぎ手・定着長さ		全て40dとする			
＊ 砕石厚サの条件（本図は砕石100mmとする）						
地 盤	土 質	岩盤・土丹	砂礫・砂		シルト・粘土・ローム	
	N 値	N ≧ 10	N < 10	N ≧ 10	N < 2	N ≧ 2
地 業 (砕石)	種 別	地はだ	砂利	砂利	砂利	砂利
	厚さ (mm)	100	100	60	150	60
地耐力	必要地耐力		40kN/㎡ (想定)			
その他	・ 施工時に地質、地下水位を調査し、地耐力を確認して下さい。					
	・ 車両等の重量に耐える地盤に設置して下さい。					
	・ 地下水位に応じて浮上防止をして下さい。					
	・ カサ上げが300mmを超えないようにして下さい。					
	本図はカサ上げ300mm付の施工図です。					
	・ 直接浄化槽にタイヤが乗らないよう浄化槽マンホールの真上に 車両を停車して下さい。					
	・ 駐車車両は、総重量2T以下の車両となります。					
	・ 製品全高は、±10mmの公差があります。					
	・ 流入流出管底は、製品全高に対して±10mmの公差があります。					
	・ 浄化槽全高は、本体板厚含む高さで表記。					
※ 臭突管 (排気管) について	・ 設置場所が風通しが悪く臭気こもるような場合や放流ポンプ槽がある場合は、必ず臭突配管（または通気管）工事をして下さい。					
	・ 詳細は、施工要領書を参照下さい。					